

TOTO

施工説明書メーカー
管理用です。

レストルームドレッサー プレミアムシリーズ

M/Lサイズ ブラケット (ULT A/G/R/V)

◆“ウォシュレット”はTOTOの登録商標です。

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。

取付後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

本書は左勝手を基準に説明しております。本書に記載の寸法の単位はmmです。

本書とあわせて、各部材に付属の説明書やチラシをご確認のうえ、正しく取り付けてください。

商品の確認 2

- | | |
|-------------|---|
| 1. 商品タイプの確認 | 2 |
| 2. 商品の構成 | 3 |
| 3. 施工ダイジェスト | 4 |

情報編 7

- | | |
|------------|----|
| 1. 安全上のご注意 | 8 |
| 2. 取付前のご注意 | 10 |
| 3. 部品の確認 | 25 |

手順編 31

工事店様へ

- ☐ 取扱説明書の最終ページの保証書に、必要事項を記入のうえ、必ずお客様にお渡ししてください。
お渡しできない場合は、目立つ場所に置いてください。



商品タイプの確認

商品タイプにより施工手順が異なります。

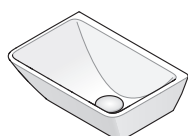
お施主様のお宅は、どのタイプですか？

手洗器

Mサイズ

ベッセルタイプ(角形)

品番:ULT*A、B、C、D～



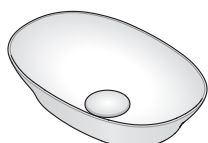
手洗器なし

品番:ULT*N～

Lサイズ

ベッセルタイプ(丸形)

品番:ULT*E～

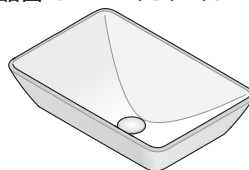


手洗器なし

品番:ULT*N～

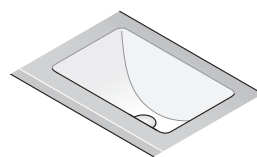
ベッセルタイプ(角形)

品番:ULT*F、G、H、J～



ボウル一体タイプ

品番:ULT*K～



手洗器位置

※図はLサイズ
ベッセルタイプ(角形)の場合

側面設置

対面設置

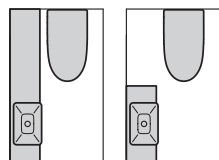
左勝手

右勝手

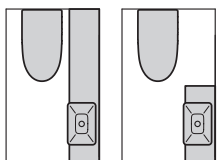
左勝手

右勝手

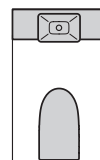
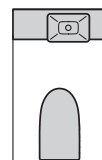
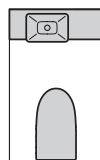
中央



※単体タイプの
場合



※単体タイプの
場合



水栓金具

※手洗器ありの場合のみ

エプロン形状

※図はLサイズ
ベッセルタイプ(角形)の場合

自動水栓

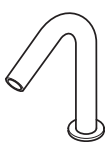
タッチレスウォール水栓

ハンドル式水栓

1方エプロン

2方エプロン

3方エプロン

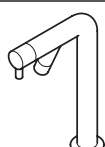


ベッセルタイプ(丸形/角形)

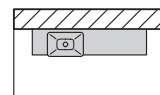
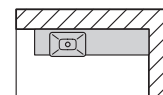
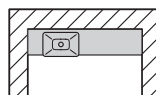
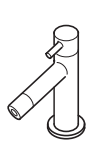
[Mサイズ] [Lサイズ]



ベッセルタイプ(丸形/角形)



ボウル一体タイプ



品番:ULU～

品番末尾でカウンタータイプをご確認ください

カウンタータイプ

※図は断面図を示す

木質製カウンター

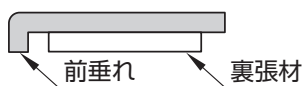
マーブライトカウンター

クリスタルカウンター

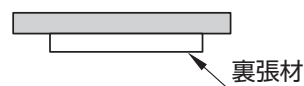
品番末尾：W、H、B、J、K、D
※W はボウル一体タイプの場合、
マーブライトカウンターとなります



品番末尾：M、G

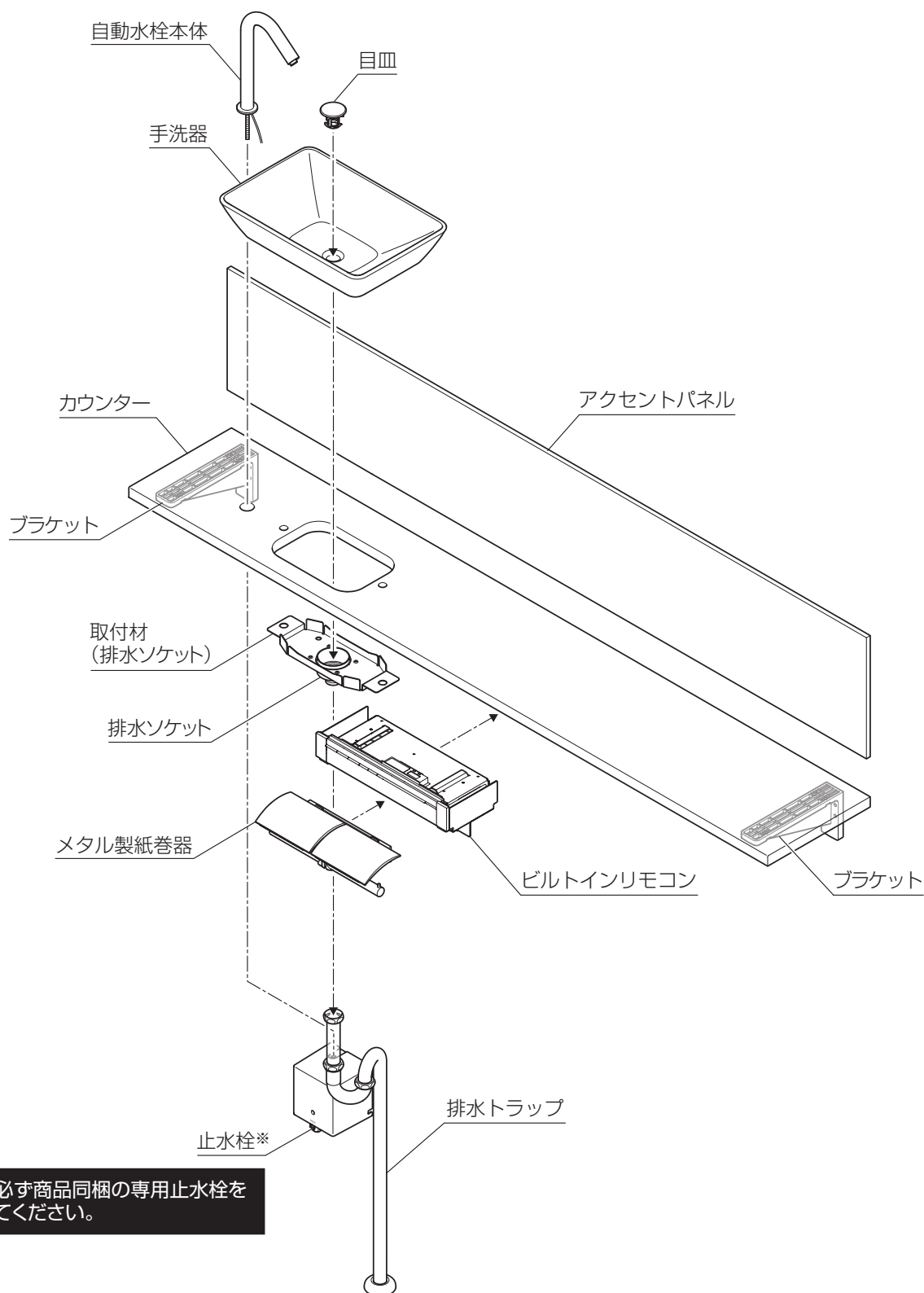


品番末尾：C、E



商品の構成

商品タイプにより構成が異なります。

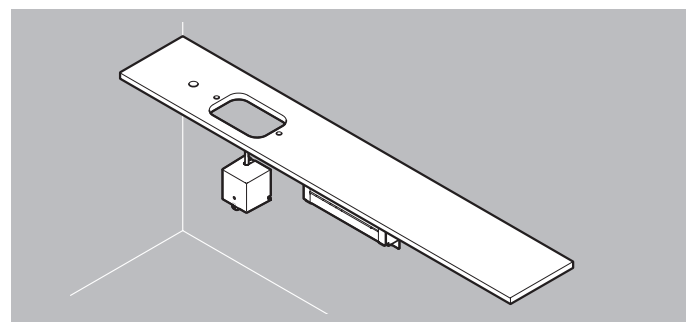


※図は側面設置/Lサイズ/ベッセルタイプ(角形)/左勝手/ビルトインリモコン有/自動水栓/壁給水・床排水/メタル製紙巻器/木質製カウンターの場合

施工ダイジェスト

施工ダイジェストはおおよその施工の流れをご理解いただくためのものです。

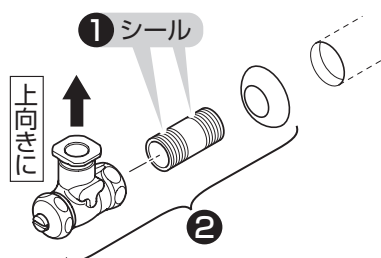
施工にあたっては、手順編の内容を十分に確認し、安全上のご注意、施工上のご注意を必ずお守りください。



0. 施工前の準備

▶ 本編 P.32

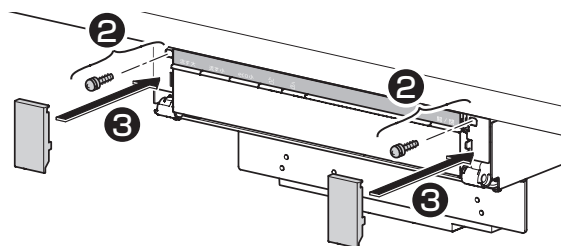
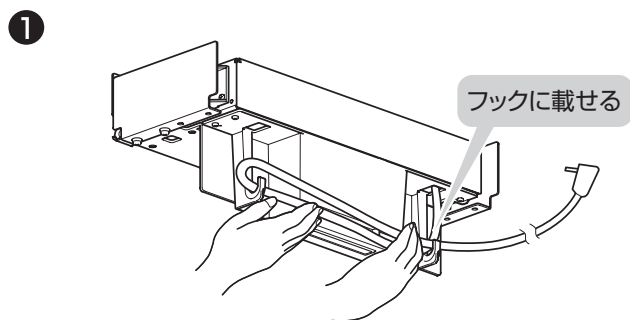
1. 給水管・止水栓



2. ブラケット・カウンター

▶ 本編 P.34

3. ビルトインリモコン



手締め

十字穴付座金組込
なべ小ねじ
M4×10(2本)

4. アクセントパネル ★

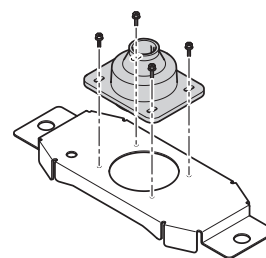
▶ 本編 P.37

5. 手洗器・水栓金具

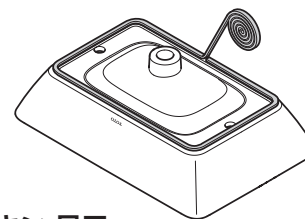
1. 排水ソケット

手締め

十字穴付座金組込
なべ小ねじ
M4×12、鉄(4本)

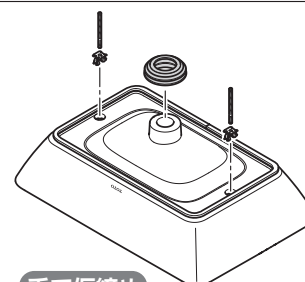


2. クッション材



3. 手洗器・パッキン・目皿

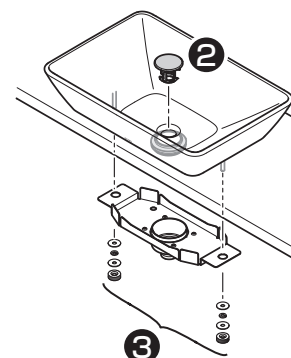
①



手で仮締め

クリップナット
(2個) 寸切ボルト
M6×65、鉄(2本)

ばね座金
M6(2個)
平座金
M6(4個)
ローレットナット
M6(2個)

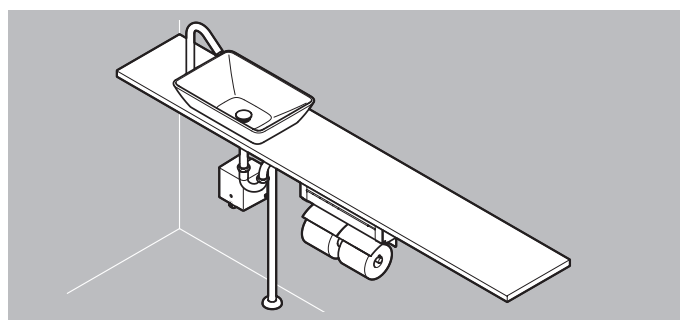
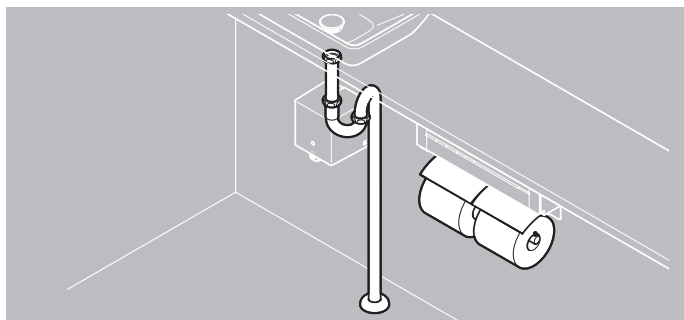
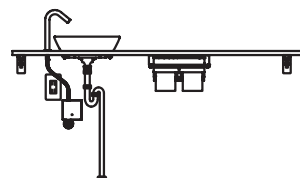


4. 水栓金具

▶ 参照 自動水栓施工説明書

下記仕様の施工ダイジェストです。「★」の工程は下記仕様の施工には不要です。

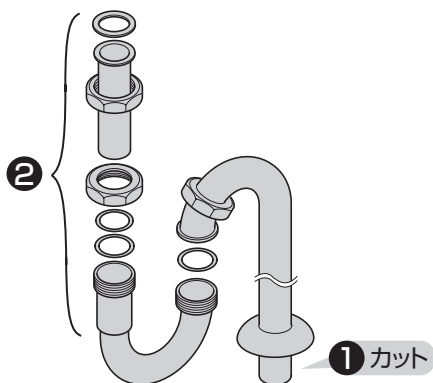
タイプ	ブラケット	水栓金具	自動水栓・一般地/寒冷地
手洗器	Lサイズ・ベッセルタイプ(角形)	給排水位置	壁給水・床排水
エプロン	1方エプロン	紙巻器	メタル製
ビルトインリモコン	あり		



6.フレキホース・電気温水器 ★

▶ 本編 P.49

7.排水トラップ



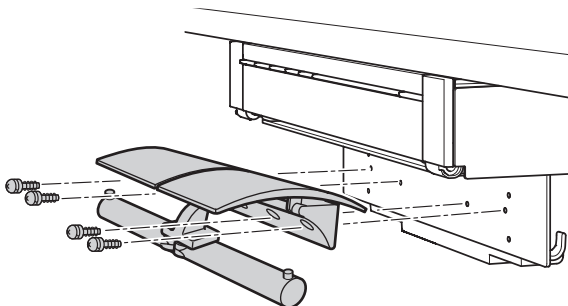
8.紙巻器

1.取付材(紙巻器) ★

▶ 本編 P.55

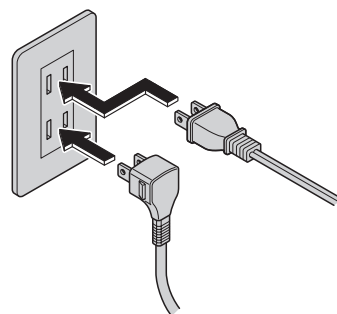
2.紙巻器

十字穴付座金組込なべ小ねじ
M4×8(4本)



9.試運転・確認

1.電気コンセント



2.吐水の確認

▶ 参照 自動水栓施工説明書

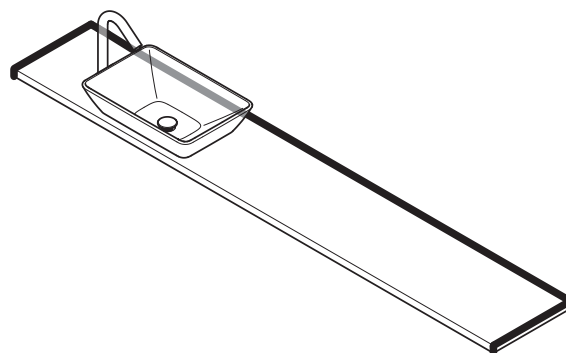
3.水漏れの確認

▶ 参照 自動水栓施工説明書

4.フィルターの掃除

▶ 参照 自動水栓施工説明書

10.シリコン系シール材



11.ビルトインリモコンの設定

▶ 本編 P.63

12.照明付化粧鏡★

▶ 本編 P.66

MEMO

情報編

1. 安全上のご注意 ▶ 8

2. 取付前のご注意 ▶ 10

1	設置寸法	11
2	給排水位置	17
3	補強材位置	21
4	電気工事	21
5	コンセント位置	22
6	窓枠	24
7	必要工具	24

3. 部品の確認 ▶ 25

1.安全上のご注意

安全のために必ずお守りください。

お取付前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容となりますので、必ずお守りください。

表示と意味



警告

死亡や重傷を負う可能性が
ある内容です。



注意

傷害や物的損害※が発生する
可能性がある内容です。



してはいけない禁止の内容です。



必ず実行していただく強制の内容です。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。



警告

 分解禁止	修理技術者以外の方は分解したり、修理・改造はしない 火災、感電、破損によるけが・重大事故、止水・吐水不良 などの不具合により、水漏れして家財などをぬらす財産 損害発生の原因となります。	 ぬれ手禁止	ぬれた手で電気部品に触れない 感電の原因となります。
 水場使用 禁止	浴室など水がかかったり湿気の多い場所には 設置しない 火災や感電の原因となります。商品本体・ねじ類の 腐食により、落下してけがのおそれがあります。	 接触禁止	雷が発生しているときは、電源プラグに触れない 感電の原因となります。
 禁止	器具取付用のねじ固定部の床・壁裏には、配管・配線 を通さない 火災や感電の原因となります。 水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。	電源コード、電源プラグが傷んだりコンセントの 差し込みがゆるいままで使用しない 火災や感電の原因となります。	
	給水および排水管の真下部にコンセントを設置したり、 フレキシホースと電源プラグ、コンセントを接触させない 結露水などにより、コンセントに水がかかり、火災や感電の 原因となります。	コンセントや配線器具の定格を超える使いかたを しない たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因と なります。	
	がたついているコンセントは使わない 火災や感電の原因となります。	指定する電源(交流100V)以外では使用しない 火災の原因となります。	
	電源コード、電源プラグが破損するようなことをしない 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。 破損とは… 傷をつける、加工する、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、 重い物を載せる、束ねる、挟み込む、加熱する など	屋外および傾斜のあるような壁面、床面、振動の 激しい場所に取り付けけない 取り付けが不安定になり、倒れたり落下してけがのおそれ があります。	
 プラグを抜く	電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグ本体 を持って引き抜く 電源コード、電源プラグの傷みによる火災や感電の原因 となります。	 アース接続	アース(D種接地)工事がされていることを確認する アース工事がされていないと故障や漏電のとき、感電する 原因となります。アース工事は、お近くの工事店に依頼して ください。
	 必ず守る		工事完了後、商品の傾きやがたつきがないか確認する 商品が落下したり、外れたりしてけがのおそれがあります。
		取付面がタイル・コンクリート壁の場合は、 コンクリート用プラグ(現場手配)を使用する 取り付けが不安定になり、落下してけがのおそれがあります。	
		機器の設置は専門業者が行う また、電気工事は関連する法令・法規に従って有資格者(電気工事士)が行う 火災や感電の原因となります。水漏れして家財などをぬらす 財産損害発生の原因となります。 商品が破損・落下してけがのおそれがあります。	

警告

 必ず守る	電源プラグは根元まで確実に差し込む 火災や感電の原因となります。	手洗器クッション材のはり付けおよび必要箇所へのシリコン系シール材の塗布(コーキング)は確実に行う 水などが浸入してコンセントにかかり、火災や感電の原因となります。
	コンセント位置・電源コードの取り回しは、本説明書に記載された位置・方法・注意事項に従う 結露水などにより、コンセントに水がかかり、火災や感電の原因となります。	接着剤・両面テープは、容器など記載の注意表示に従い、正しく使用する 誤った使い方をすると、人体に影響が出たり、使用部品の損傷や劣化の原因となります。

注意

 禁止	商品に乗らない、重い物を載せない 商品が破損・落下してけがのおそれがあります。	電源コードは指定された機器以外に使用しない 機器故障の原因となります。
	商品に強い力や衝撃を与えない 商品が破損・落下してけがのおそれがあります。	止水栓を開けたままで給水フィルター、機能部フィルターを外さない 水が噴き出し、家財などをめらす財産損害発生の原因となります。
 必ず守る	フレキホースが破損するようなことをしない フレキホースが破損し、水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。 破損とは… 傷をつける、加工する、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねる、挟み込む、加熱する など	アクセントパネル本体や角に過度の衝撃を与えない 割れてけがのおそれがあります。
	コンセントは水や小水がかからない位置に設置する コンセントに水がかかり、感電・発火の原因となります。	水平器を用いて水平に設置する 物が落下してけがのおそれがあります。
	商品の壁への固定が完了するまで、もたれたり、物を載せたりしない 倒れや落下によりけがのおそれがあります。	給水フィルター、機能部フィルター、給水フィルター付水抜栓を取り付けるときは接続部やフィルターふたを確実に締める 水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。 ※止水栓は必ず商品同梱の専用止水栓を取り付けてください。
	設置工事に使用する部品は必ず付属部品および指定部品を使用する 取り付けが不安定になり、使用中に落下してけがのおそれがあります。	必ず自動水栓機能部の接続口が上になるように固定する 水が浸入し、不具合の原因となります。
	推奨位置以外に設置する場合は、安全性を十分に確認する 取り付けが不安定になり、使用中に落下してけがのおそれがあります。	凍結による破損の予防を行う 凍結すると商品の一部が破損し、水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。
	商品の取り付け・加工は、本説明書に記載された方法・注意事項に従う 商品が破損・落下してけがのおそれがあります。	カットした面は滑らかに仕上げる 滑らかに仕上げないとお客様の手が触れ、けがのおそれがあります。
	商品周囲のすき間処理は、本説明書に記載された方法・注意事項に従う 水が浸入して家財などをめらす財産損害発生の原因となります。	作業時は手袋、防じんマスクなど適切な安全防具を使用する けがのおそれがあります。
	給水・排水接続は、本説明書に記載された方法・注意事項に従う 水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。	工事完了後、給排水管から水漏れがないか確認する 水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。
	ねじ部の固定は、本説明書に記載された方法・注意事項に従う 商品が破損・落下してけがのおそれがあります。	

2.取付前のご注意

施工や運搬、清掃時に触れる可能性のある金属類は、陶器と接触しないようにしてください。
金属類が陶器表面をこすり、スジ状の跡が付くおそれがあります。

アクセントパネルを設置する場合

- ・取り付けは建築壁の構造を確かめて確実に取り付けてください。
取り付けを誤ると、使用中にアクセントパネルが落下し、けがをするおそれがあります。
- ・釘やねじの飛び出しがないことを確認してください。はがれや浮き・割れの原因になります。
- ・壁面に2/1000mm以上の不陸がないことを確認してください。
壁面に2/1000mm以上の不陸がある場合、アクセントパネルとカウンター、壁にすき間が生じることがあります。

専用大便器

レストルームドレッサープレミアムシリーズと組み合わせる大便器は、**ビルトインリモコンの設置有無**で異なります。
下記に従って、大便器を選択してください。

ビルトインリモコンを設置する場合

- ・必ず右に示す専用の大便器を設置してください。
- ・専用品以外の大便器を設置された場合、ビルトインリモコンは作動いたしませんので、十分ご注意ください。
- ・専用大便器の品揃えは右記の6種類です。

ビルトインリモコンを設置しない場合

一般の大便器を設置してください。

専用大便器
ネオレストNX (レストルームドレッサー専用品)
ネオレストLS2 (レストルームドレッサー専用品)
ネオレストLS-W (レストルームドレッサー専用品)
ネオレストAS2 (レストルームドレッサー専用品)
ネオレストAS-W (レストルームドレッサー専用品)
ネオレストRS3 (レストルームドレッサー専用品)

MEMO

1 設置寸法

- ・快適にご使用いただくために、以下のトイレ寸法を確保してください。
- ・設置される大便器の前出寸法によってトイレの必要寸法が異なりますので、ご注意ください。
- ・トイレスペースの奥行寸法に応じて、紙巻器や手すりなどの使い勝手に配慮した適切な位置に手洗器を設置してください。
- ・ドアとの位置関係を事前にご確認ください。ドアの位置によってドア枠とカウンターなどが干渉してしまうことがあります。
- ・商品を設置する床面や壁面に6/1000mm以上の不陸がないことを確認してください。
床・壁面に6/1000mm以上の不陸がある場合、商品に著しい段差やすき間が生じることがあります。

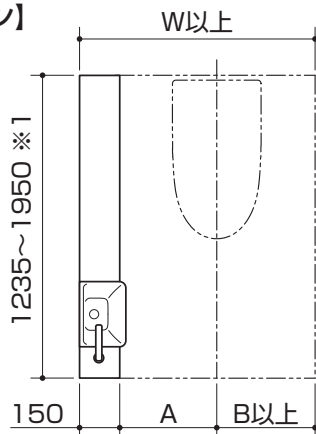
側面設置の場合

- ・本図は左勝手の場合です。右勝手の場合は左右反転となります。
- ・リモコンを壁に設置する場合は、カウンター側の横壁に設置してください。(単体タイプを除く)
ただし、Lサイズで大便器中心からカウンター側の横壁までが600mmを越える場合は、カウンターと反対側の横壁に設置、またはカウンター上にリモコンスタンド(別売品)を設置してください。

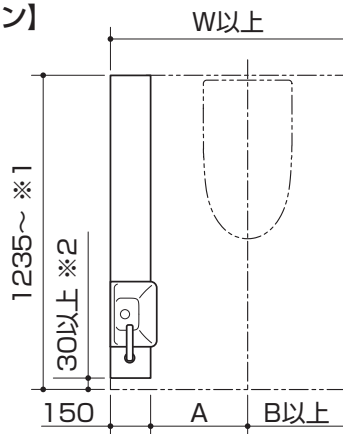
立管タイプ以外の場合

Mサイズ

【1方エプロン】



【2方エプロン】



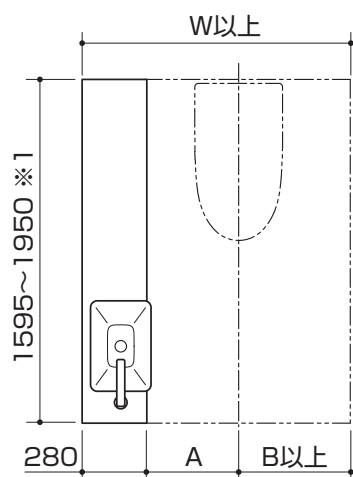
エプロン形状	大便器	W	A	B
1方エプロン ※9	ネオレスト AS/RS	810	280 ~ 410 ※3※4	350
	ネオレスト LS	810	280 ~ 410 ※3※4	355
	GGA・GG・ピュアレスト	810 ※8	280 ~ 410 ※3※4※8	350
	ネオレスト NX ※5※6	815	280 ~ 410	385
	FD ※5※6	890 ※7	365 ~ 410 ※4	375
2方エプロン ※9	ネオレスト AS/RS	780	280 ~ 410 ※3※4	350
	ネオレスト LS	785	280 ~ 410 ※3※4	355
	GGA・GG・ピュアレスト	780 ※8	280 ~ 410 ※3※4※8	350
	ネオレスト NX ※5※6	815	280 ~ 410	385
	FD ※5※6	890 ※7	365 ~ 410 ※4	375

※標準的なドア寸法から、ドア枠とカウンターの干渉を考慮して、対応間口を設定しています。

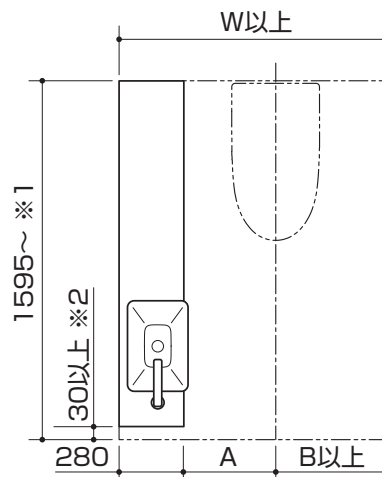
- ※1 商品タイプや便器によって最小奥行寸法が異なります。
- ※2 指の挟み込み防止のため、30mm以上のすき間確保が必要です。
- ※3 ハンドグリップをカウンター側の横壁に設置する場合は、A=345までとなります。
- ※4 レストルームドレッサー専用のインテリア・バーをカウンター側の横壁に設置する場合は、A=390までとなります。
- ※5 ハンドグリップを設置する場合は、カウンターと反対側の横壁に設置となります。
- ※6 木製手すり、インテリア・バーを設置する場合は、カウンターと反対側の横壁に設置となります。
- ※7 FD(UWE ~)とセットする場合は、新築は1370mmまで、リモデルは960mmまで設置可能です。
FD(UWU ~)とセットする場合は、戸建は1240mmまで、マンション(LGS)は960mmまで設置可能です。
- ※8 右勝手にピュアレスト EX/QR を設置する場合は W=815、A=315 以上となります。
- ※9 アクセントパネル設置の場合は、ハンドグリップ、木製手すり、インテリア・バーはカウンターと反対側の横壁に設置となります。

Lサイズ

【1方エプロン】



【2方エプロン】



エプロン形状	大便器	W	A	B
1 方エプロン ※4※5	ネオレスト AS/RS	940	280~410 ※3	350
	ネオレスト LS	940	280~410 ※3	355
	GGA・GG・ピュアレスト	945	280~410 ※3※7	350
	ネオレスト NX	1050	385~410	385
	FD	1020 ※6	365~410 ※3	375
2 方エプロン ※4※5	ネオレスト AS/RS	910	280~410 ※3	350
	ネオレスト LS	915	280~410 ※3	355
	GGA・GG・ピュアレスト	945	280~410 ※3※7	350
	ネオレスト NX	1050	385~410	385
	FD	1020 ※6	365~410 ※3	375

※1 商品タイプや便器によって最小奥行寸法が異なります。

※2 指の挟み込み防止のため、30mm以上のすき間確保が必要です。

※3 レストルームドレッサー専用のインテリア・バーをカウンター側の横壁に設置する場合は、A=380までとなります。

※4 木製手すり、インテリア・バーを設置する場合は、カウンターと反対側の横壁に設置となります。

※5 アクセントパネル設置の場合は、ハンドグリップ、木製手すり、インテリア・バーはカウンターと反対側の横壁に設置となります。

※6 FD(UWE~)とセットする場合は、新築は1370mmまでとなります(リモデルの場合は設置できません。)

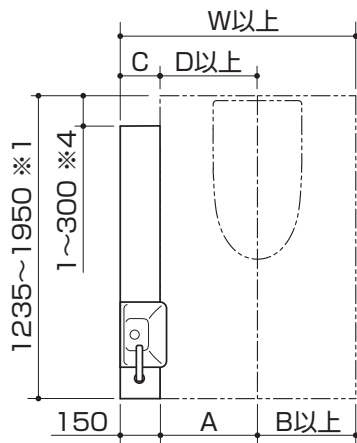
FD(UWU~)とセットする場合は、戸建は1240mmまでとなります。(マンション(LGS)の場合は設置できません。)

※7 右勝手でピュアレスト EX/QR を設置する場合はA=315以上となります。

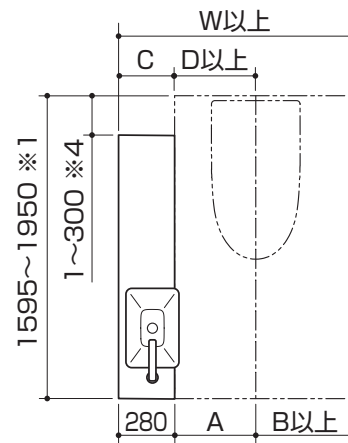
MEMO

立管タイプの場合

【Mサイズ】



【Lサイズ】



サイズ	大便器	W	A	B	C	D
Mサイズ ※2※3	ネオレスト AS/RS	855	355～410	350	155～210	350
	ネオレスト LS	865	360～410	355	155～205	355
	GGA・GG・ピュアレスト	855	355～410	350	155～210	350
	ネオレスト NX	925	390～410	385	155～175	385
Lサイズ ※2※3	ネオレスト AS/RS	985	355～410	350	285～340	350
	ネオレスト LS	995	360～410	355	285～335	355
	GGA・GG・ピュアレスト	985	355～410	350	285～340	350
	ネオレスト NX	1055	390～410	385	285～305	385

※1 商品タイプや便器によって最小奥行寸法が異なります。

※2 ハンドグリップを設置する場合は、カウンターと反対側の横壁に設置となります。

※3 木製手すり、インテリア・バーを設置する場合は、カウンターと反対側の横壁に設置となります。

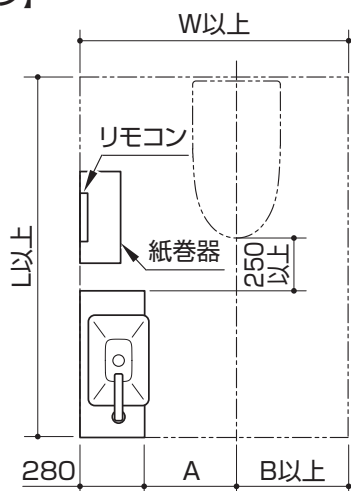
※4 立管幅が250未満では壁排水便器左右抜きでカウンター側に抜くことはできません。

MEMO

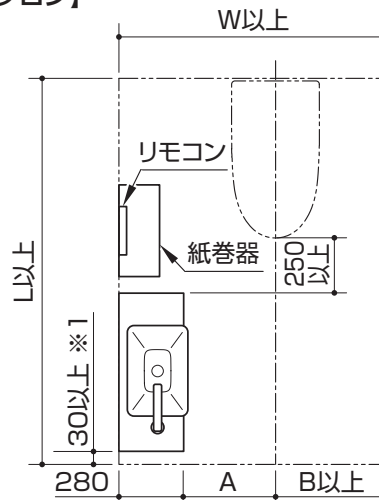
側面設置(単体タイプ)の場合

Lサイズ パターン①

【2方エプロン】



【3方エプロン】



エプロン形状	大便器	L	W	A	B
2方エプロン ※2	ネオレスト AS/RS	1665 ※4	940	225	350
	ネオレスト LS	1690	940	225	355
	GGA・GG・ピュアレスト	1730 ※4	940	225	350
	ネオレスト NX	1775	940	225	385
	FD	1730 ※6	940 ※3	225	375
3方エプロン ※2	ネオレスト AS/RS	1695 ※5	855	225	350
	ネオレスト LS	1725	860	225	355
	GGA・GG・ピュアレスト	1765 ※5	855	225	350
	ネオレスト NX	1810	890	225	385
	FD	1765 ※6	880 ※3	225	375

※1 指の挟み込み防止のため、30mm以上のすき間確保が必要です。

※2 木製手すり、インテリア・バーを設置する場合は、カウンターと反対側の横壁に設置となります。

※3 FD(UWE～)とセットする場合は、新築は1370mmまで、リモデルは960mmまで設置可能です。

FD(UWU～)とセットする場合は、戸建は1240mmまで、マンション(LGS)は960mmまで設置可能です。

※4 2方エプロンでネオレストAS/RSの壁排水リモデルを設置する場合、1730以上となります。

GG、ピュアレストEX/QRの壁排水リモデルを設置する場合、1765以上となります。

※5 3方エプロンでネオレストAS/RSの壁排水リモデルを設置する場合、1760以上となります。

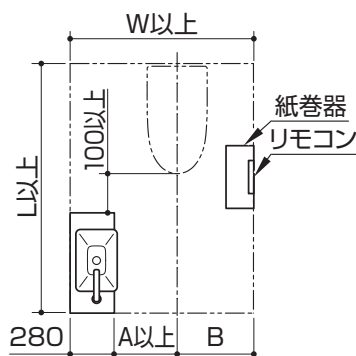
GG、ピュアレストEX/QRの壁排水リモデルを設置する場合、1795以上となります。

※6 2方エプロンでFD(UWU～)を設置する場合は1720以上、3方エプロンでFD(UWU～)を設置する場合は1755以上となります。

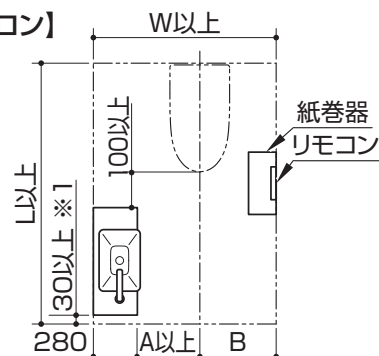
MEMO

Lサイズ パターン②

【2方エプロン】



【3方エプロン】



エプロン形状	大便器	L	W	A	B
2方エプロン ※3※4	ネオレスト AS/RS	1515 ※6	940	240 ※2	375 ~ 480
	ネオレスト LS	1540	940	240 ※2	375 ~ 480
	GGA・GG・ピュアレスト	1580 ※6	940	240 ※2	375 ~ 480
	ネオレスト NX	1625	940	240 ※2	385 ~ 480
	FD	1580 ※8	940 ※5	240 ※2	375 ~ 480
3方エプロン ※3※4	ネオレスト AS/RS	1545 ※7	895	240 ※2	375 ~ 480
	ネオレスト LS	1575	895	240 ※2	375 ~ 480
	GGA・GG・ピュアレスト	1615 ※7	895	240 ※2	375 ~ 480
	ネオレスト NX	1660	905	240 ※2	385 ~ 480
	FD	1615 ※8	895 ※5	240 ※2	375 ~ 480

※1 指の挟み込み防止のため、30mm以上のすき間確保が必要です。

※2 レストルームドレッサー専用のインテリア・バーをカウンター側の横壁に設置する場合は、A=380までとなります。

※3 木製手すり、インテリア・バーを設置する場合は、カウンターと反対側の横壁に設置となります。

※4 リモコン、紙巻器は、カウンターと反対側の横壁に設置となります。

※5 FD(UWE~)とセットする場合は、新築は1370mmまで、リモデルは960mmまで設置可能です。

FD(UWU~)とセットする場合は、戸建は1240mmまで、マンション(LGS)は960mmまで設置可能です。

※6 2方エプロンでネオレストAS/RSの壁排水リモデルを設置する場合、1580以上となります。

GG、ピュアレストEX/QRの壁排水リモデルを設置する場合、1615以上となります。

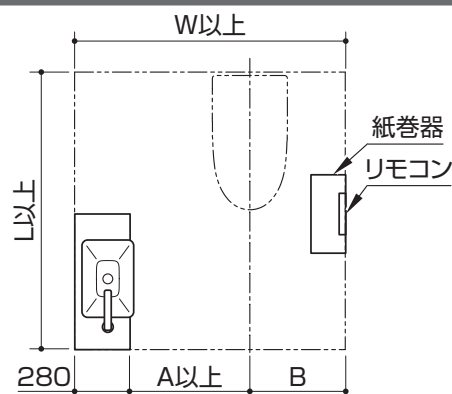
※7 3方エプロンでネオレストAS/RSで壁排水リモデルを設置する場合、1610以上となります。

GG、ピュアレストEX/QRの壁排水リモデルを設置する場合、1645以上となります。

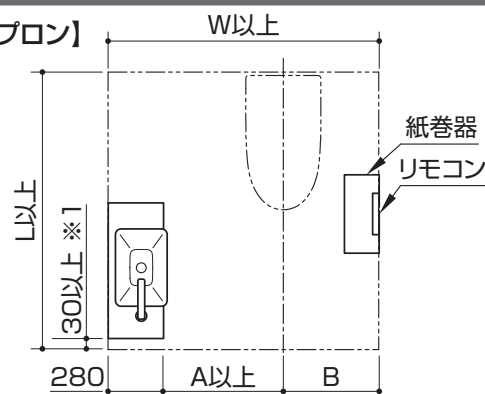
※8 2方エプロンでFD(UWU~)を設置する場合は1570 以上、3方エプロンでFD(UWU~)を設置する場合は1605以上となります。

Lサイズ パターン③

【2方エプロン】



【3方エプロン】



エプロン形状	大便器	L	W	A	B
2方エプロン 3方エプロン ※2※3	ネオレスト AS/RS	1145 ※4	1450	795	375 ~ 480
	ネオレスト LS	1170	1460	805	375 ~ 480
	GGA・GG・ピュアレスト	1210 ※4	1450	795	375 ~ 480
	ネオレスト NX	1255	1500	835	385 ~ 480

※1 指の挟み込み防止のため、30mm以上のすき間確保が必要です。

※2 木製手すり、インテリア・バーを設置する場合は、カウンターと反対側の横壁に設置となります。

※3 リモコン、紙巻器は、カウンターと反対側の横壁に設置となります。

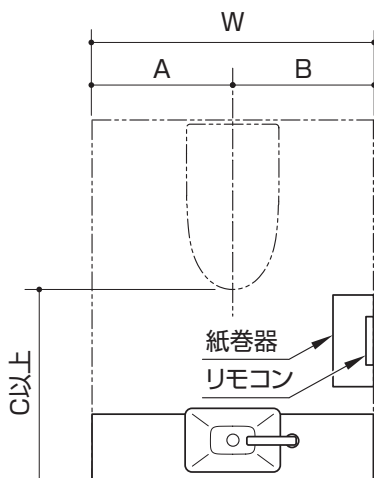
※4 ネオレストAS/RSの壁排水リモデルを設置する場合、1210以上となります。

GG、ピュアレストEX/QRの壁排水リモデルを設置する場合、1245以上となります。

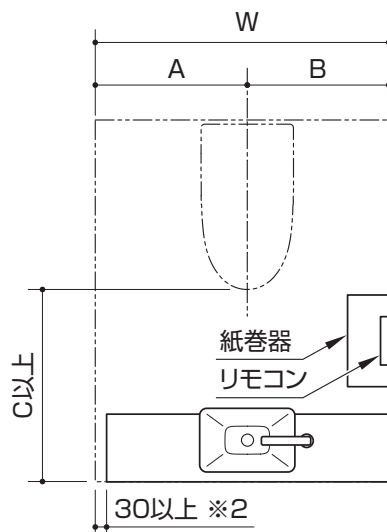
対面設置の場合（Lサイズのみ）

リモコンを壁に設置する場合は、紙巻器と同じ側に設置してください。

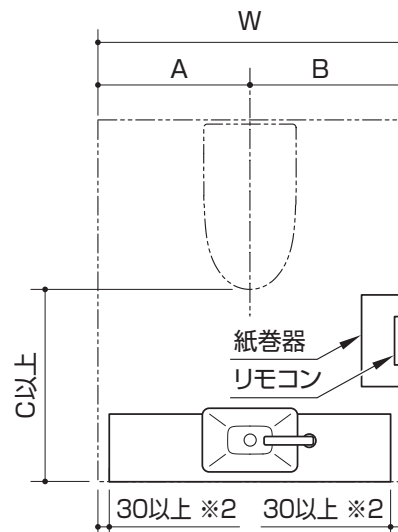
【1方エプロン】



【2方エプロン】



【3方エプロン】



サイズ	エプロン形状	手洗器位置	W
Lサイズ	1方エプロン	右 / 左	750 ~ 1500 ※3※4
		中央	
	2方エプロン	右 / 左	760 ~ ※1※3※4
		中央	870 ~ ※4
	3方エプロン	右 / 左	845 ~ ※4
		中央	905 ~ ※4

大便器	A	B	C
ネオレストLS/AS/RS	375以上	375~480	780
GGA・GG・ピュアレスト			
FD(UWE~)	375~890		
FD(UWU~)	375~760		
ネオレストNX	385以上	385~480	

※1 エプロンの位置が手洗器と反対側にある場合は、W=810以上となります。

※2 指の挟み込み防止のため、30mm以上のすき間確保が必要です。

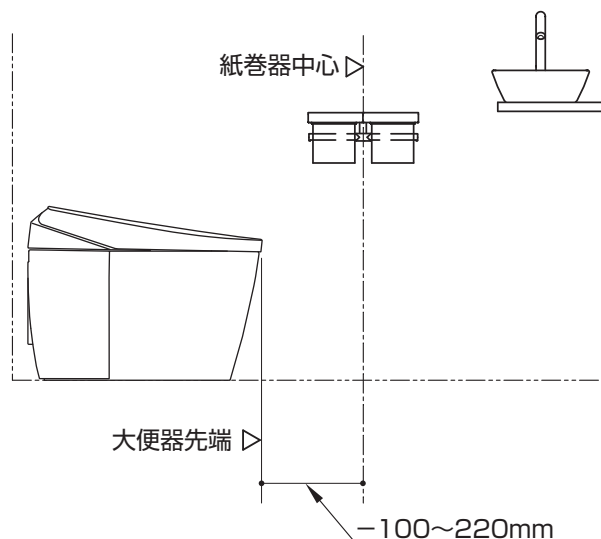
※3 ネオレストNXの場合は、W=770以上となります。

※4 FD(UWE ~)とセットする場合は、新築は1370mmまで、リモデルは960mmまで設置可能です。

FD(UWU ~)とセットする場合は、戸建は1240mmまで、マンション(LGS)は960mmまで設置可能です。

【紙巻器設置範囲】

下記範囲内でプラン図や実際の使い勝手をご確認のうえ、紙巻器を設置してください。



2 給排水位置

- ・設備側給水管の取り出しは壁・床仕上げ面と同一面としてください。
- ・設備側排水管の取り出しは壁排水の場合、壁仕上げ面と同一面としてください。床排水の場合は床仕上げ面と同一面で取り出してください。
- ・電気温水器を設置する場合も同位置になります。
- ・ただし、排水管(φ32 またはφ25)への接続に際しては排水用アダプター(現場手配)をご用意ください。
- ・給水圧力は、最低必要水圧：0.05MPa(流動時)最高水圧：0.75MPa(静止時)です。この圧力範囲でご使用ください。

Mサイズ

参照 大便器の給排水位置：大便器の施工説明書

ベッセルタイプ(角形)

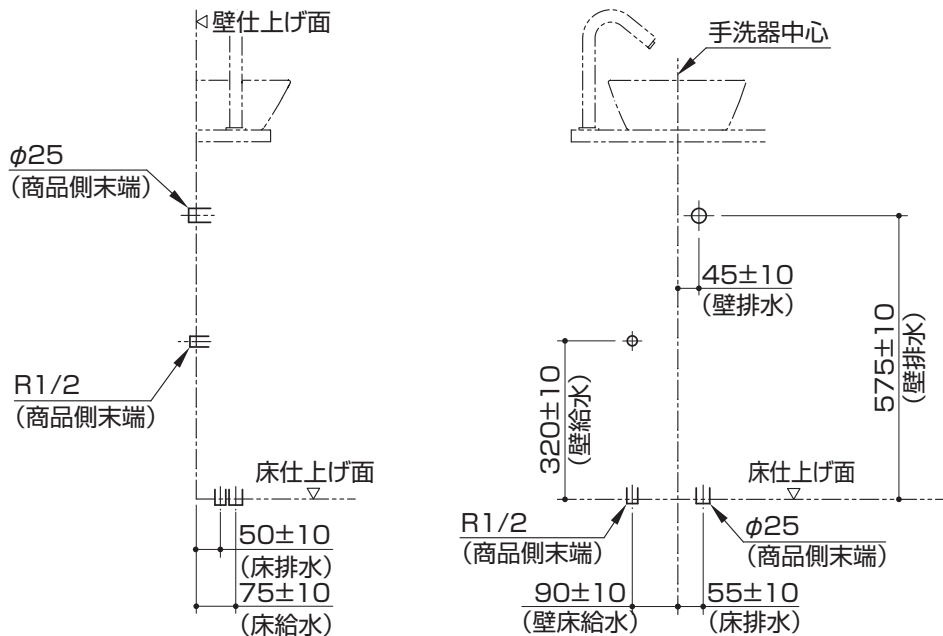
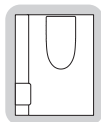
警告



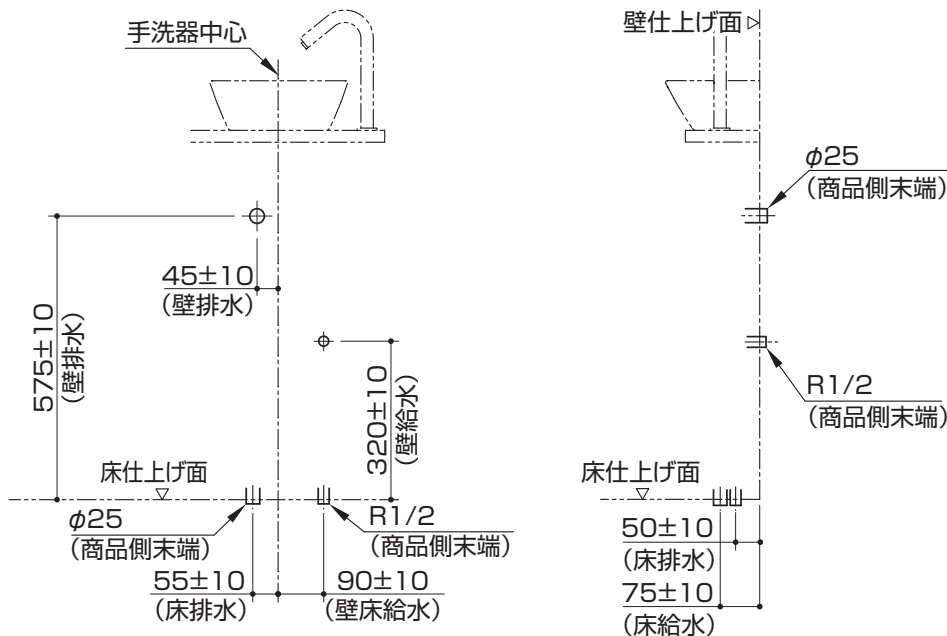
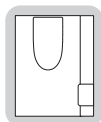
器具取付用のねじ固定部の壁裏には配管・配線をしない
火災や感電・水漏れして財産損害発生の原因となります。

ハンドル式水栓・自動水栓・タッチレスウォール水栓共通(図は自動水栓の場合)

【左勝手】



【右勝手】



2

取付前の注意

Lサイズ

参照 大便器の給排水位置：大便器の施工説明書

ベッセルタイプ(丸形)

警告

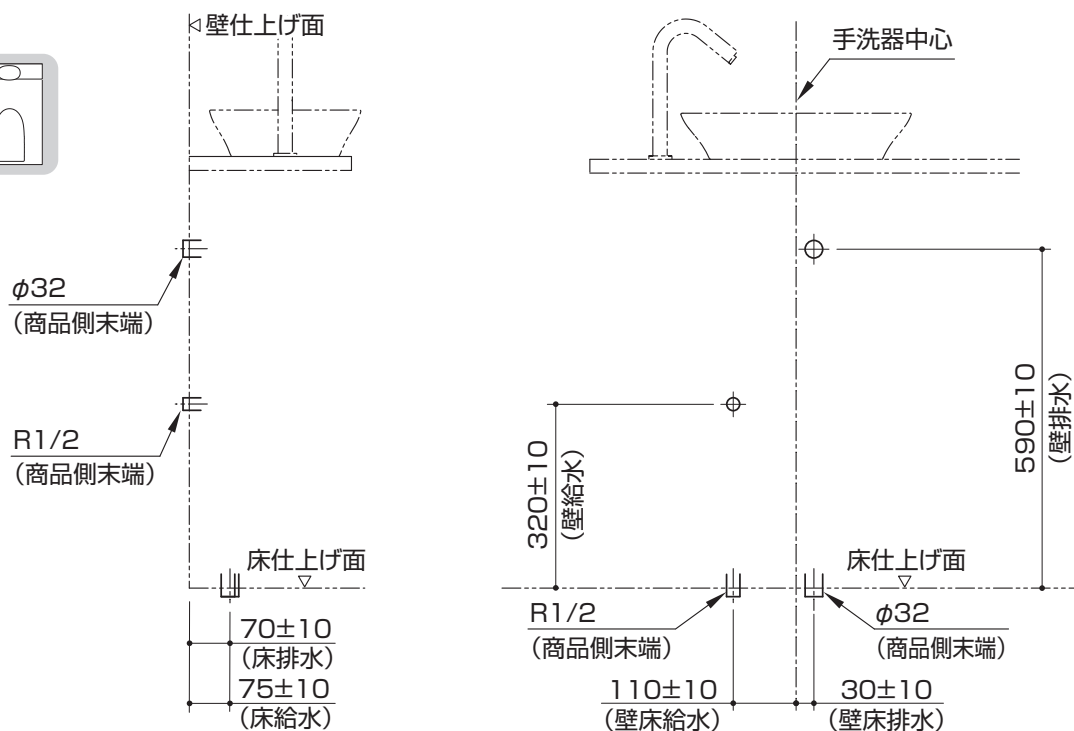
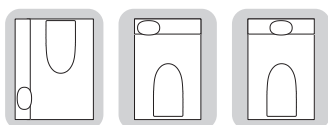


禁止

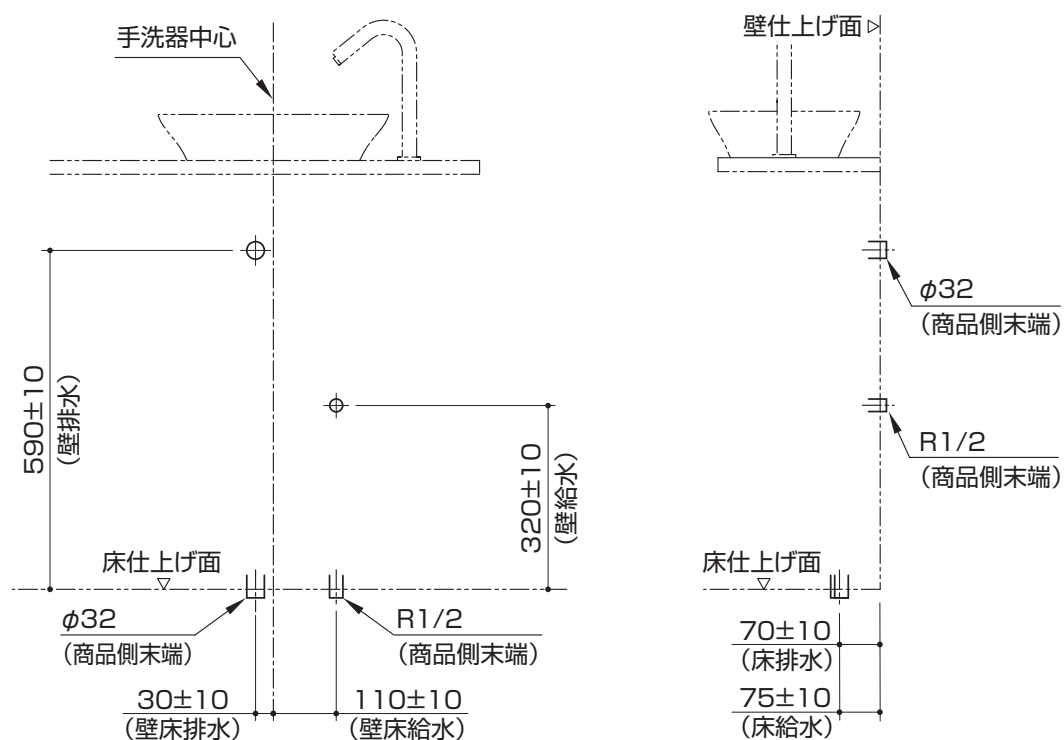
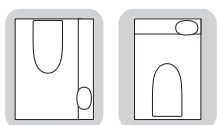
器具取付用のねじ固定部の壁裏には配管・配線をしない
火災や感電・水漏れして財産損害発生の原因となります。

ハンドル式水栓・自動水栓・タッチレスウォール水栓共通(図は自動水栓の場合)

【左勝手・中央】



【右勝手】



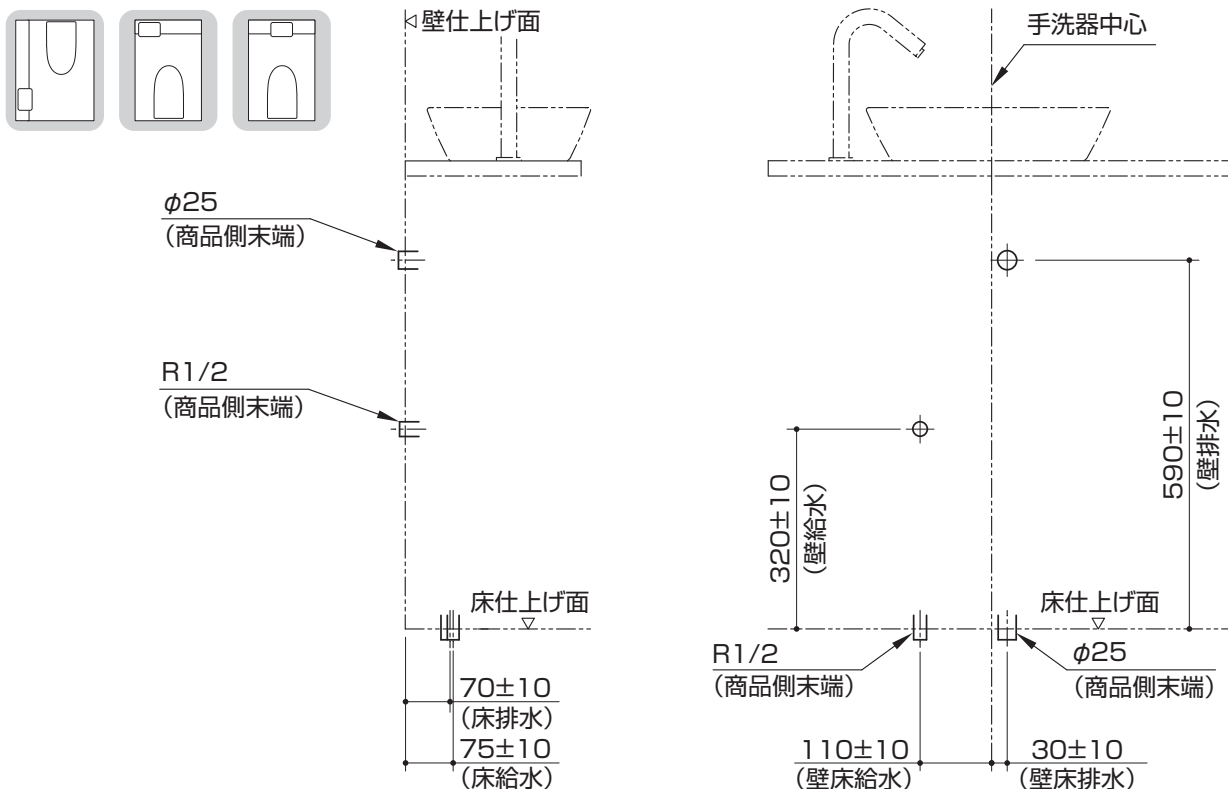
警告



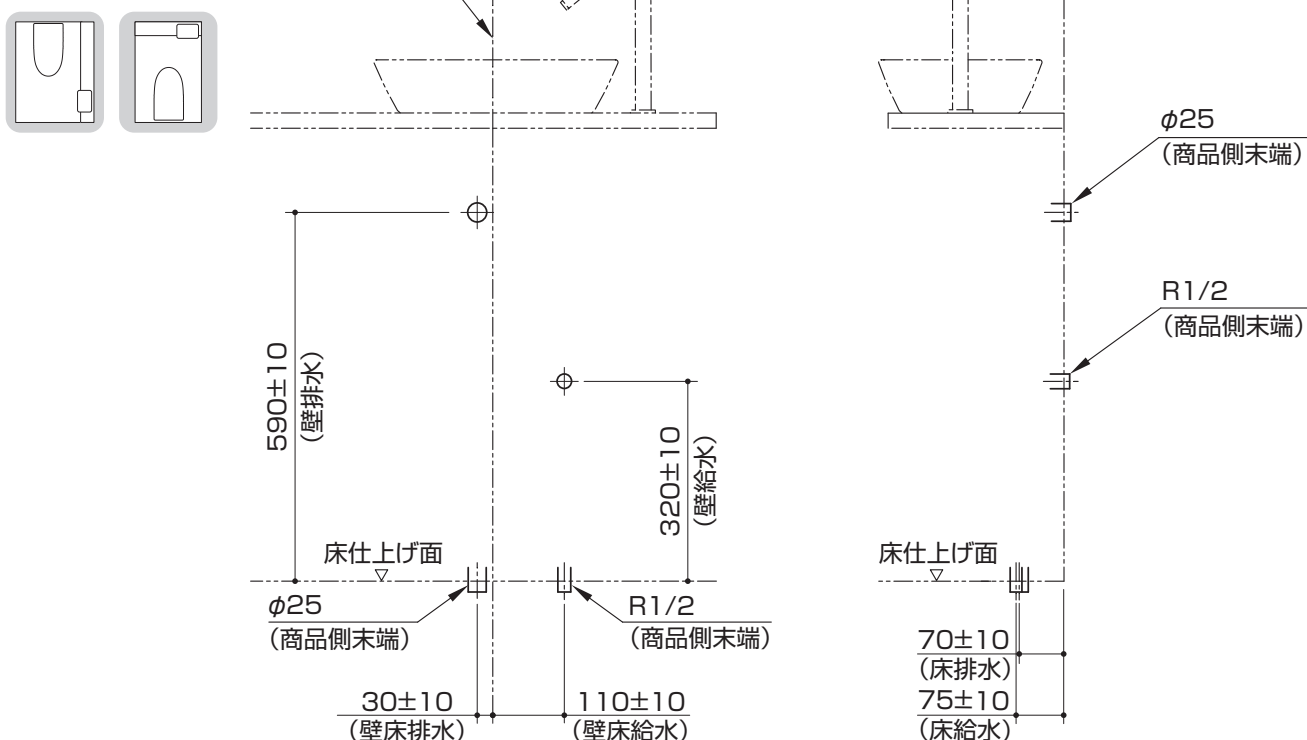
器具取付用のねじ固定部の壁裏には配管・配線をしない
火災や感電・水漏れして財産損害発生の原因となります。

ハンドル式水栓・自動水栓・タッチレスウォール水栓共通(図は自動水栓の場合)

【左勝手・中央】



【右勝手】



ボウルー体タイプ

警告

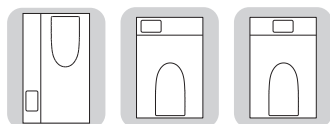


器具取付用のねじ固定部の壁裏には配管・配線をしない
火災や感電・水漏れして財産損害発生の原因となります。

ハンドル式水栓・自動水栓共通(図は自動水栓の場合)

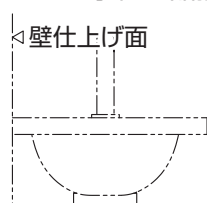
※ボウルー体タイプにはタッチレスウォール水栓の品揃えはないのでご注意ください。

【左勝手・中央】



$\phi 25$
(商品側末端)

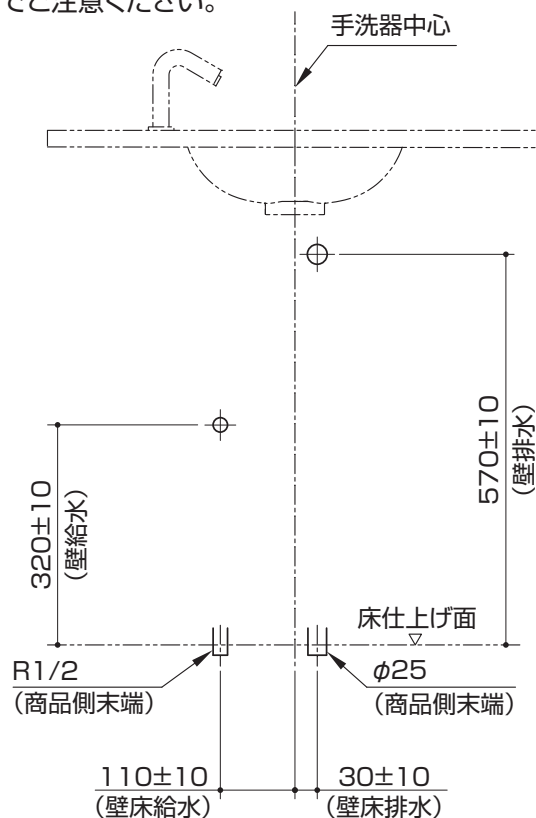
R1/2
(商品側末端)



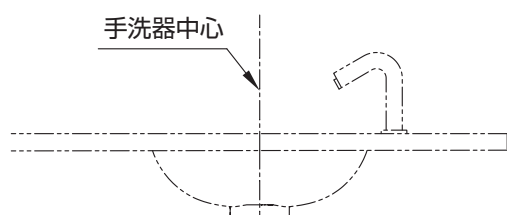
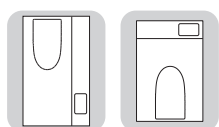
床仕上げ面

70±10
(床排水)

75±10
(床給水)



【右勝手】



570±10
(壁排水)

床仕上げ面

$\phi 25$
(商品側末端)

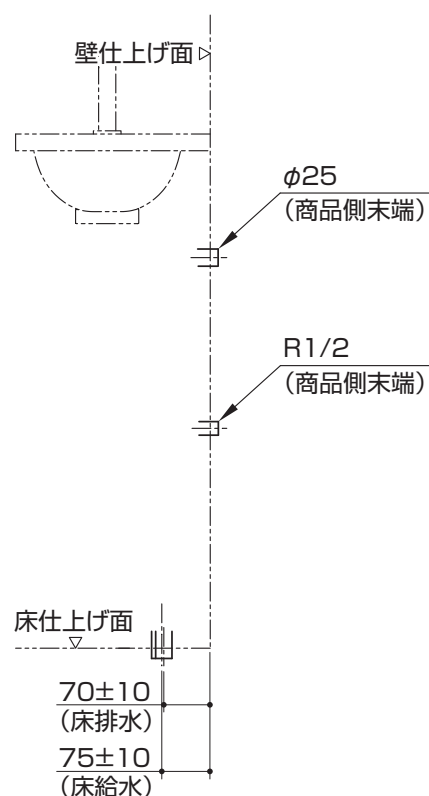
30±10
(壁床排水)



320±10
(壁給水)

R1/2
(商品側末端)

110±10
(壁床給水)



床仕上げ面

70±10
(床排水)

75±10
(床給水)

$\phi 25$
(商品側末端)

R1/2
(商品側末端)

3 補強材位置

ねじ位置については下記URL内の「ねじ位置情報」をご覧ください。
[URL]
<https://search.toto.jp/contents/navi/construction/eito/kinejiichijoho/kinejiichijoho.htm>



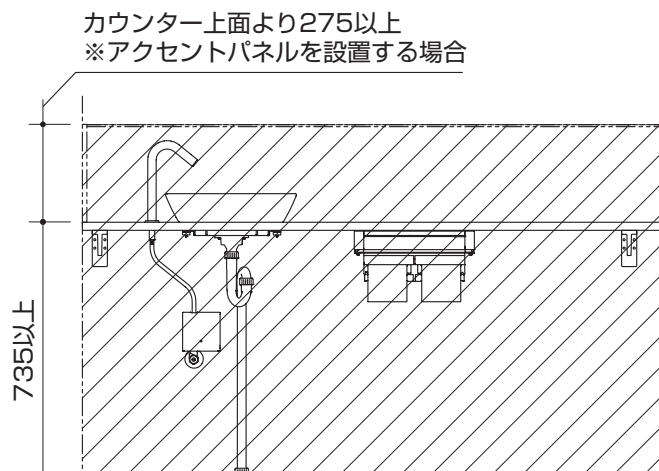
- ・建築工事(別途工事)にて、手洗器およびカウンター、周辺部材の壁取付面には、あらかじめ t12 以上の普通合板(JAS 規格品)を入れておいてください。(右図斜線部)合板は受木または間柱などに固定してください。以下の壁下地にはアクセントパネルを取り付けることはできません。

[取り付けできない壁下地の例]

タイル壁、コンクリート壁

- ・タイル・コンクリート壁の場合は、固定ねじ位置に下穴をあけ、木ねじ用プラグを打ち込んで固定してください。(アクセントパネルの場合を除く)

※周辺部材に関しては各説明書をご参照ください。



4 電気工事

各器具および大便器の消費電力をご確認のうえ、適切な配線を行ってください。

器 具		定格消費電力	定格電源
電気温水器		約505W ※2	AC100V (50/60Hz)
ビルトインリモコン		待機時2W(作動時5W)	
自動水栓・タッチレスウォール水栓		待機時0.4W(最大3W)	
		作動時0.6W(最大5W)	
照明付化粧鏡		8.6W	
専用 大便器 ※1	ネオレストNX (レストルームドレッサー専用品)	一般地1279W	
	ネオレストLS2 (レストルームドレッサー専用品)	一般地1276W (寒冷地1316W)	
	ネオレストLS-W (レストルームドレッサー専用品)	一般地1275W (寒冷地1315W)	
	ネオレストAS2 (レストルームドレッサー専用品)	一般地1375W (寒冷地1415W)	
	ネオレストAS-W (レストルームドレッサー専用品)	一般地1278W (寒冷地1318W)	
	ネオレストRS3 (レストルームドレッサー専用品)	一般地1271W (寒冷地1311W)	

※1 一般地：流動方式兼用

寒冷地：ヒーター付便器・水抜併用方式

※2 沸上がり温度約38℃、タンク容量約1L、元止め式の場合

・上表の各器具以外の電気器具を設置する場合は消費電力をご確認のうえ、適切な配線を行ってください。

2

取付前のご注意

5 コンセント位置

大便器側（参考）

本商品と組み合わせるウォシュレット用のコンセントは、
接地用端子の付いた接地極付きの壁埋込式1口コンセントを設置してください。

※水や小水がかからない位置に設置ください。

また、壁給水の真下部に電源コンセントを設置したり、給水ホースと電源コンセントを接触させないでください。
感電・発火の原因になります。

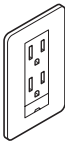
※止水栓、コンセントはレストルームドレッサーのキャビネットと干渉しない位置に設置ください。

※ピュアレストEXおよびQR(ヒーター付便器・水抜併用方式)にウォシュレットを設置する場合は、接地用端子の
付いた接地極付きの壁埋込式2口コンセントを設置してください。

※FDを設置する場合は、FDの施工説明書をご確認ください。

手洗器側

自動水栓・タッチレスウォール水栓・電気温水器・ビルトインリモコンを設置する場合は図を参照し、本商品を施工前に
壁仕上げのうえコンセントを壁仕上げ面に設置してください。

コンセント	設置機器		
	自動水栓・タッチレスウォール水栓	電気温水器	ビルトインリモコン
接地用端子の付いた 接地極付きの壁埋込式 2口コンセント 	○	○	○
	○	○	—
壁埋込式2口コンセント 	○	—	○
壁埋込式1口コンセント 	○	—	—
	—	—	○

Mサイズ

警告

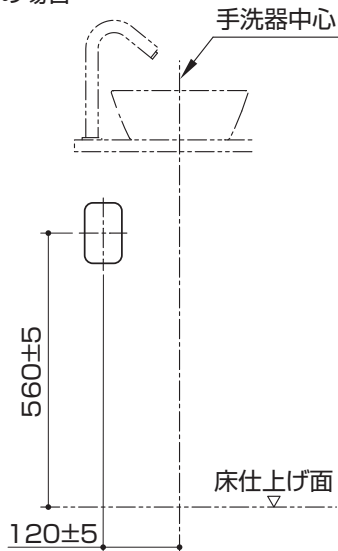
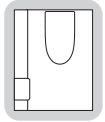


禁止

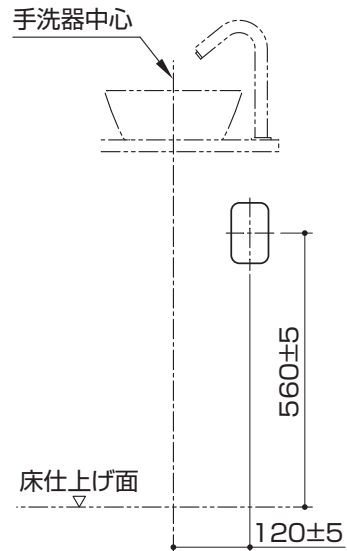
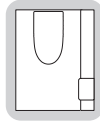
器具取付用のねじ固定部の壁裏には配管・配線をしない
火災や感電・水漏れして財産損害発生の原因となります。

※図は自動水栓の場合

【左勝手】



【右勝手】



Lサイズ

警告

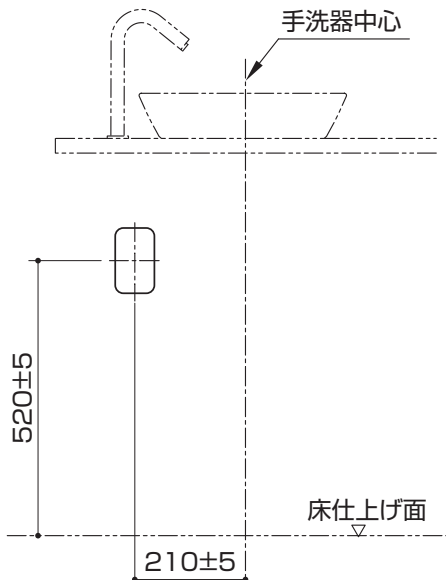
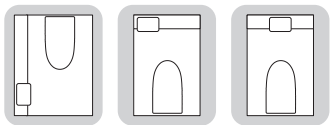


禁止

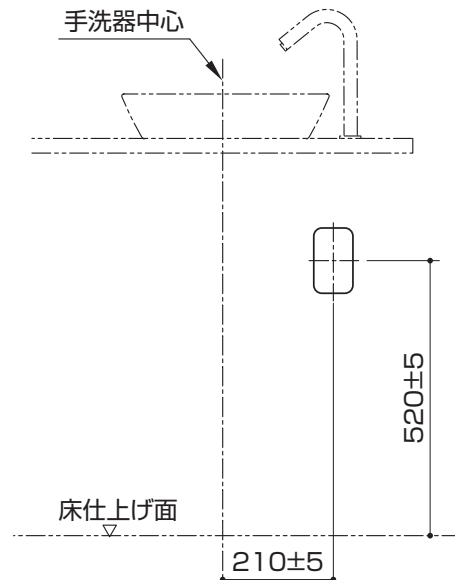
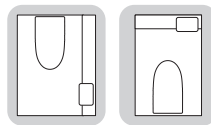
器具取付用のねじ固定部の壁裏には配管・配線をしない
火災や感電・水漏れして財産損害発生の原因となります。

ベッセルタイプ(丸形)・ベッセルタイプ(角形)・ポウルー体タイプ・手洗器なし共通(図はベッセルタイプ(角形)自動水栓の場合)

【左勝手・中央】



【右勝手】

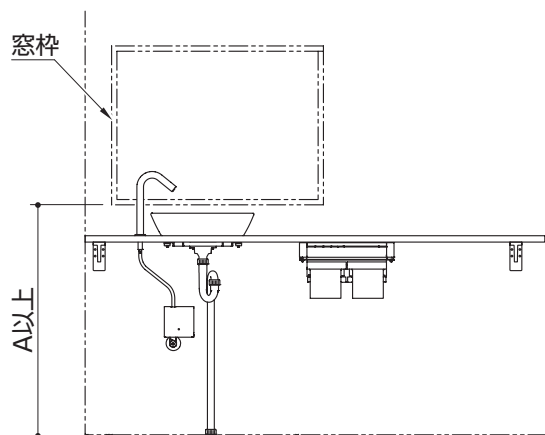


2

取付前の注意

6 窓枠

- ・窓がある場合、下図のような制約が付きます。事前に商品と干渉しないことをご確認ください。



タイプ			A
アクセント パネルあり	Mサイズ	ベッセルタイプ(角形)	1075
	Lサイズ	ベッセルタイプ(丸形/角形)	
		ボウル一体タイプ	
	手洗器なし		
アクセント パネルなし	Mサイズ	ベッセルタイプ(角形)	890
	Lサイズ	ベッセルタイプ(丸形/角形)	790
		ボウル一体タイプ	
	手洗器なし		

※図はLサイズベッセルタイプ(角形)

7 必要工具

一般水道工事に使う工具以外に、下記の工具を用意してから施工を始めてください。



のこぎり



小型のこぎり



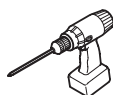
シリコン系
シール材



ナット締付工具
(品番:TZY15N)



カッター



電動ドライバー
(+) 65mm
#2ビット・#3ビット
(+) 200mm
#2ビット・#3ビット



電動ドリル
φ3



ドライバー
(+) 65mm
#2ビット
(+) 200mm
#2ビット

MEMO

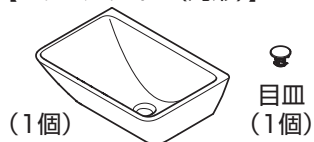
3. 部品の確認

- ・包装箱の内容は左勝手を基本として記載しています。
- ・◆マークの付いた部品はその他部材を詰め合わせた箱に入っています。

手洗器

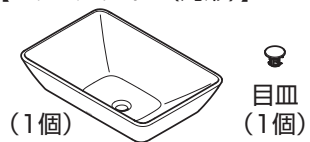
Mサイズ

【ベッセルタイプ(角形)】

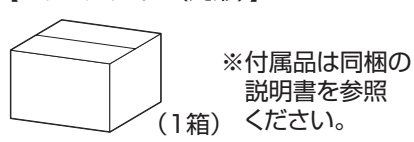


Lサイズ

【ベッセルタイプ(角形)】



【ベッセルタイプ(丸形)】



【ボウル一体タイプ】



カウンター

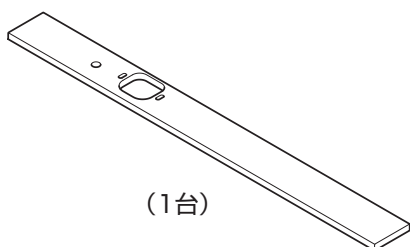
ハンドル式水栓・自動水栓

タッチレスウォール水栓

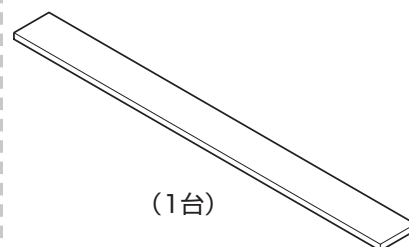
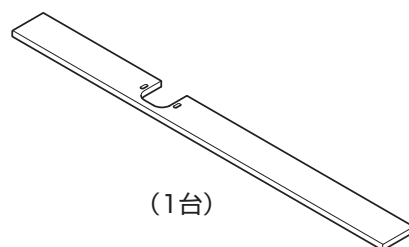
手洗器なし

Mサイズ

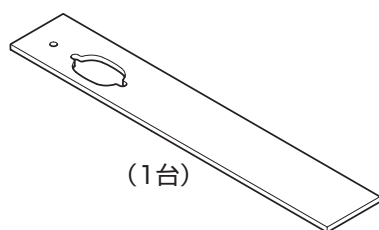
【ベッセルタイプ(角形)】



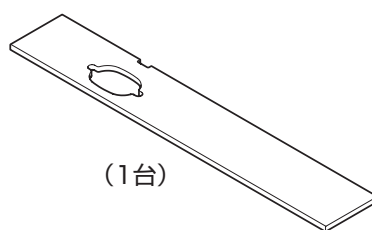
【ベッセルタイプ(角形)】



【ベッセルタイプ(丸形)】

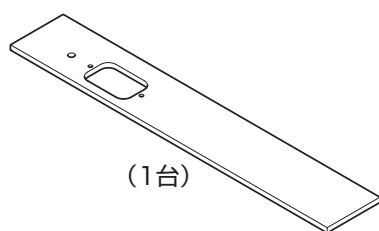


【ベッセルタイプ(丸形)】

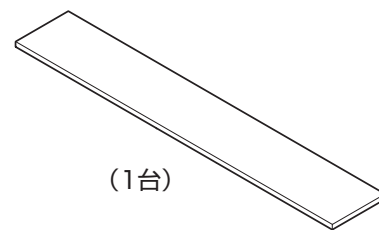
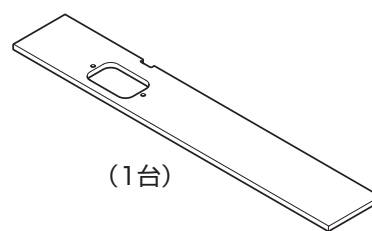


Lサイズ

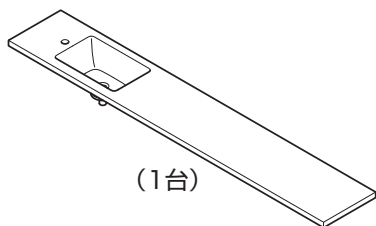
【ベッセルタイプ(角形)】



【ベッセルタイプ(角形)】



【ボウル一体タイプ】



—

3

部品の確認

ブラケットセット

木質製カウンター・マーブライトカウンター

【Mサイズ】



ブラケット



十字穴付トラスタッピンねじ
4×16(ブラケット1個につき3本)
(カウンター固定用)

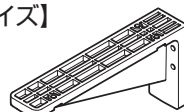


スペーサー(t1)
(ブラケット1個につき4枚)



十字穴付トラスタッピンねじ
5×50(ブラケット1個につき4本)
(壁固定用)

【Lサイズ】



ブラケット



十字穴付トラスタッピンねじ
4×16(ブラケット1個につき3本)
(カウンター固定用)



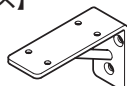
スペーサー(t1)
(ブラケット1個につき4枚)



十字穴付トラスタッピンねじ
5×50(ブラケット1個につき4本)
(壁固定用)

クリスタルカウンター

【Mサイズ】



ブラケット



十字穴付皿タッピンねじ
4×14(ブラケット1個につき4本)
(カウンター固定用)

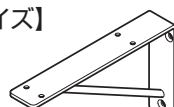


スペーサー(t1)
(ブラケット1個につき4枚)



十字穴付皿タッピンねじ
5×50(ブラケット1個につき3本)
(壁固定用)

【Lサイズ】



ブラケット



十字穴付皿タッピンねじ
4×14(ブラケット1個につき4本)
(カウンター固定用)



スペーサー(t1)
(ブラケット1個につき4枚)

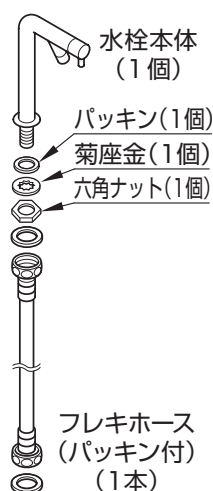


十字穴付皿タッピンねじ
5×50(ブラケット1個につき3本)
(壁固定用)

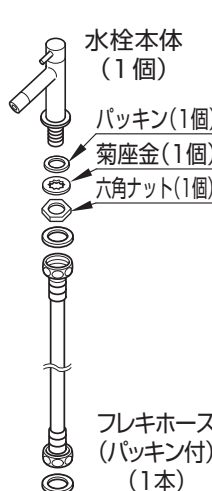
水栓金具 ほか(プランによって同梱内容は異なります)

◆ハンドル式水栓

【ベッセルタイプ(丸形/角形)】

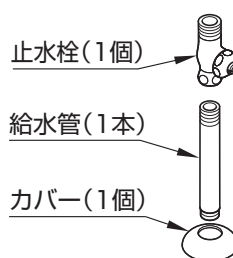


【ボウラー一体タイプ】



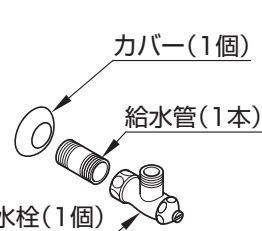
止水栓

【床給水仕様】



※ベッセルタイプ(丸形)の場合、
カバーの形状が異なります。

【壁給水仕様】



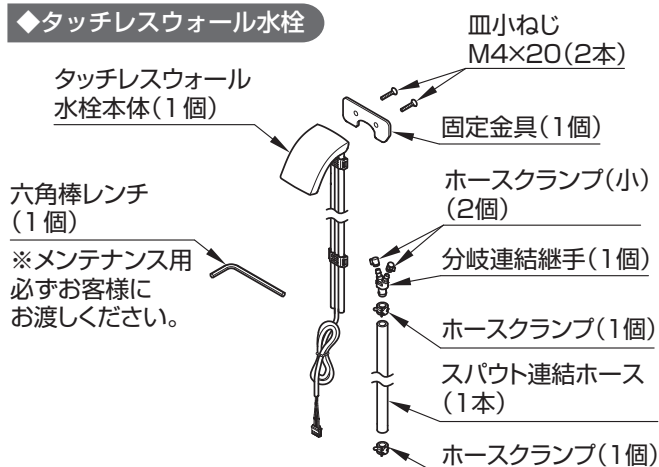
※ベッセルタイプ(丸形)の場合、
カバーの形状が異なります。

◆自動水栓

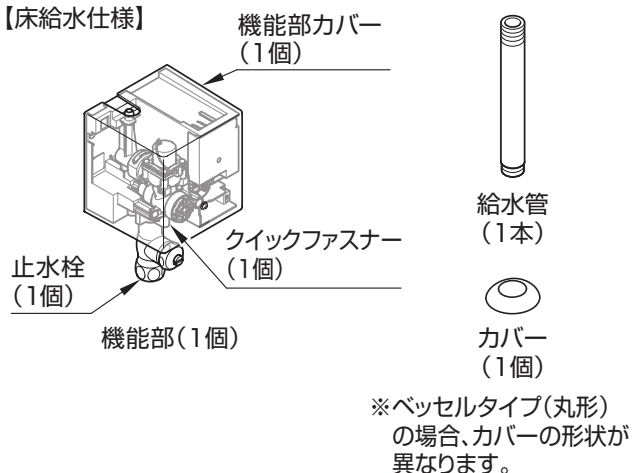


自動水栓本体
(1個)

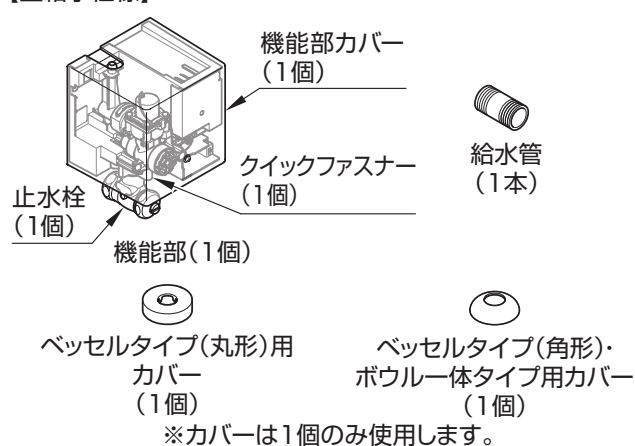
◆タッチレスウォール水栓



【床給水仕様】



【壁給水仕様】



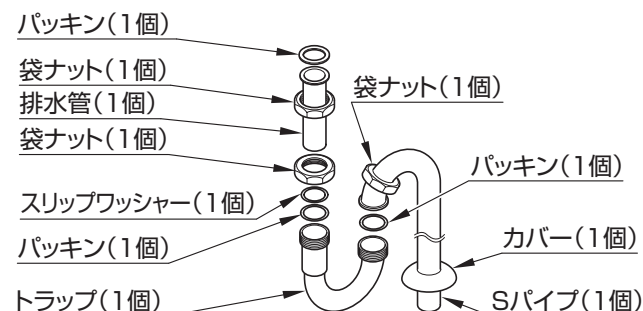
※止水栓は必ず商品同梱の専用止水栓を取り付けてください。

◆排水トラップ(プランによって同梱内容は異なります)

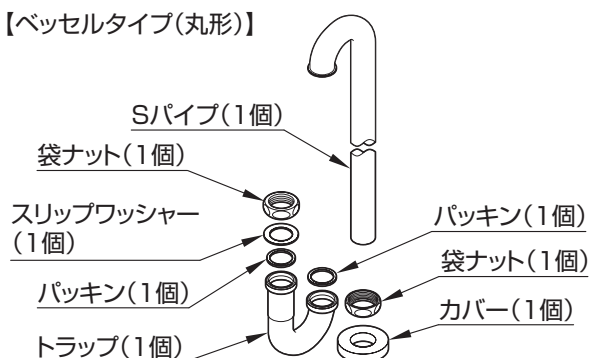
排水トラップ(床排水接続管)

※手洗器によって排水トラップが異なります。

【ベッセルタイプ(角形)・ボウル一体タイプ】



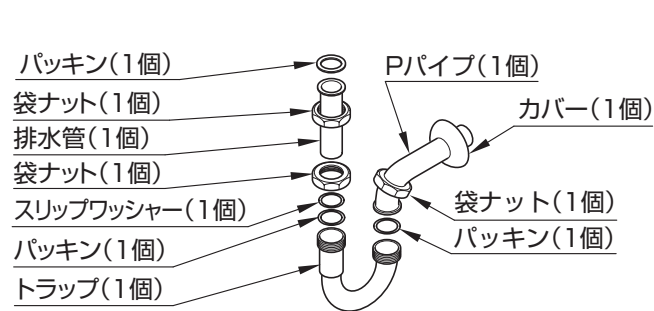
【ベッセルタイプ(丸形)】



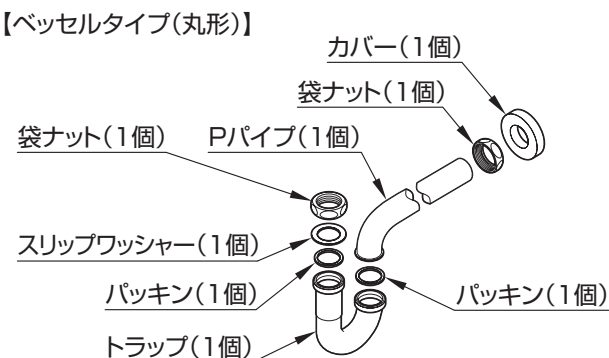
排水トラップ(壁排水接続管)

※手洗器によって排水トラップが異なります。

【ベッセルタイプ(角形)・ボウル一体タイプ】

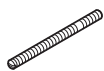


【ベッセルタイプ(丸形)】



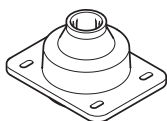
◆付属材セット(手洗器)

※ベッセルタイプ(角形)のみ

寸切ボルト
M6×65、鉄
(2本)ローレットナット
M6 (2個)平座金
M6 (4個)クリップナット
(2個)ばね座金
M6 (2個)クッション材
(1個)

◆排水ソケットセット

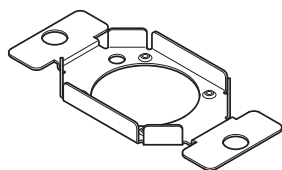
※ベッセルタイプ(角形)のみ

排水ソケット
(1個)パッキン(排水口)
(1個)

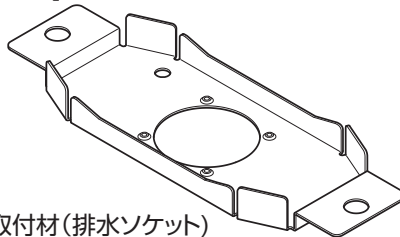
◆取付材セット(排水ソケット)

※ベッセルタイプ(角形)のみ

【Mサイズ】

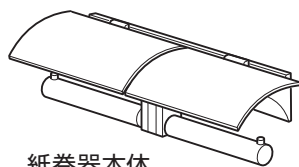
取付材(排水ソケット)
(1個)十字穴付
座金組込
なべ小ねじ
M4×12、鉄(4本)

【Lサイズ】

取付材(排水ソケット)
(1個)十字穴付
座金組込
なべ小ねじ
M4×12、鉄(4本)

◆紙巻器

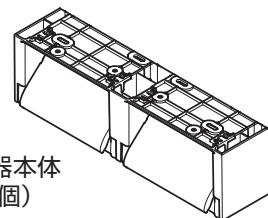
メタル製紙巻器

紙巻器本体
(1個)十字穴付
座金組込
なべ小ねじ
M4×8 (4本)

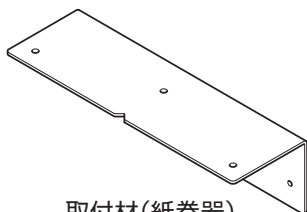
【下記の部品は使用しません】

十字穴付
なべタッピンねじ
4×40 (4本)

樹脂製紙巻器

紙巻器本体
(1個)スペーサー(紙巻器)
(2個)

取付材(紙巻器) ※メタル製紙巻器でビルトインリモコンを設置しない場合のみ

取付材(紙巻器)
(1個)十字穴付
皿タッピンねじ
4×12 (3本)

ねじセット③

十字穴付座金組込
なべ小ねじ
M4×12 (4本)

ねじセット④

十字穴付
トラスタッピンねじ
4×14 (4本)

※ねじセットの番号は各袋に記載の番号です。

◆説明書 ほか

施工説明書

施工説明書

本書
(1冊)

取扱説明書

必ずお客様にお渡しください



開閉工具
(1個)



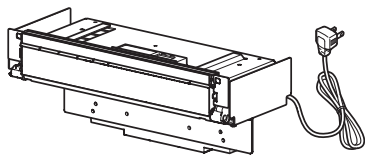
六角棒レンチ
(対辺: 1.5mm)



取扱説明書
(1冊)

※六角棒レンチはタッチレスウォール水栓に付属しています。

ビルトインリモコン(選択商品)



ビルトインリモコン
(1個)



化粧板(2枚)

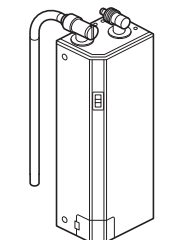


十字穴付座金組込
なべ小ねじ
M4×10(2本)

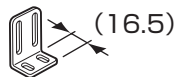


施工説明書
(1冊)

電気温水器(選択商品)



電気温水器本体
(1台)



固定アングル1
(2個)



化粧ラベル
(1枚)



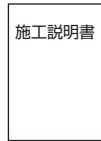
十字穴付座金組込
なべ小ねじ
M4×10(4本)
(固定アングル用)



十字穴付
なべタッピンねじ
4×30(4本)
(壁固定用)



取扱説明書
(1冊)

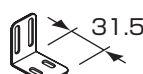


施工説明書
(1冊)



L=300
排水ホース
(1本)

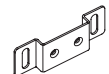
【下記の部品は使用しません】



固定アングル2
(1個)



十字穴付
なべ小ねじ
M4×5(2本)
(スペーサー取付用)

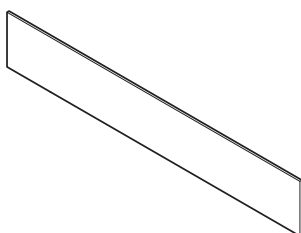


スペーサー
(1個)

必ずお客様にお渡しください

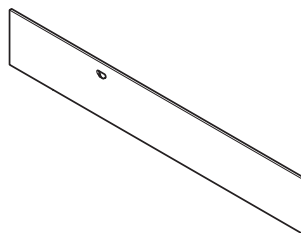
アクセントパネル(選択商品)

ハンドル式水栓・自動水栓・手洗器なし



アクセントパネル
(1枚)

タッチレスウォール水栓



アクセントパネル
(1枚)

付属材セット(アクセントパネル)



平座金
(24個)



低頭タッピンねじ
4×50(8本)



キャップ
(8個)

3

部品の確認

MEMO

手順編

0. 施工前の準備	▶32
1. 給水管・止水栓	▶33
2. ブラケット・カウンター	▶34
3. ビルトインリモコン	▶36
4. アクセントパネル	▶37
5. 手洗器・水栓金具	▶44
6. フレキホース・電気温水器	▶49
7. 排水トラップ	▶54
8. 紙巻器	▶55
9. 試運転・確認	▶58
10. シリコン系シール材	▶62
11. ビルトインリモコンの設定	▶63
12. 照明付化粧鏡	▶66

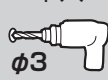
マーク表示について

手締めで



電動ドライバー
使用禁止です。
手締めしてください。

下穴



下穴をあけてください。
(例: φ3 の場合)

けがき



けがき



けがきを
してください。

カット



カットして
ください。

シール



シールテープを
巻いてください。

水平確認



水平器で水平確認
してください。

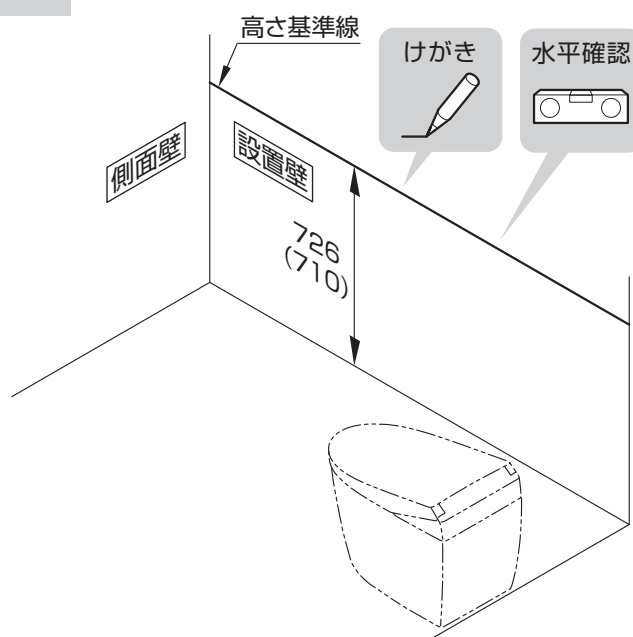
0. 施工前の準備

レイアウト図または以下の情報をもとに、設置位置の基準をご確認のうえ、けがいてください。

けがく際のご注意

商品取付後に、けがき線が露出しないよう、ご注意ください。
また、鉛筆などあとで消せるものでけがいてください。

1 高さ基準線のけがき



※()寸法はクリスタルカウンターの場合

MEMO

2. ブラケット・カウンター

カウンターの水平について

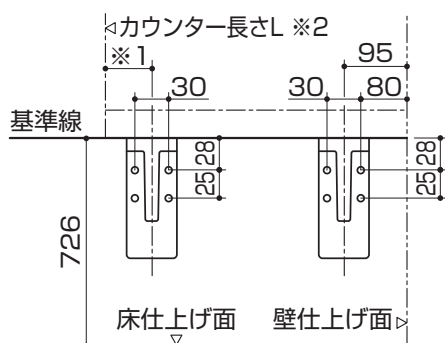
ブラケットおよびカウンターが水平となるように、同梱のスペーサーで必ず調整してください。
壁仕上げの状態(垂直、目地、鏡面など)によって、カウンターの見ばえに影響が出ることがあります。

1 ブラケットの取り付け

① ブラケットを下図の位置にあわせる

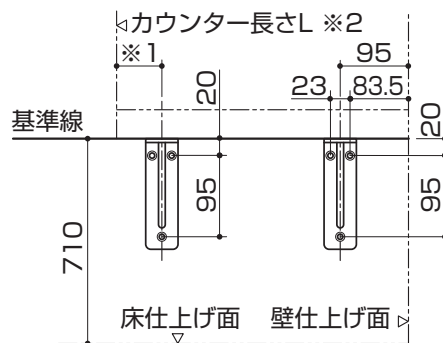
側面設置の場合 ※単体タイプの場合は除く

クリスタルカウンター以外の場合

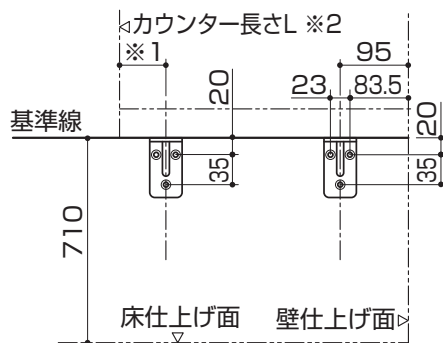


クリスタルカウンターの場合

[Lサイズ]



[Mサイズ]



※1 カウンター長さ、エプロン形状によってブラケット取付位置が異なります。
下表位置に取り付けてください。

		カウンター長さ 1429以下	カウンター長さ 1430～1519以下	カウンター長さ 1520以上
Mサイズ	1方エプロン※3	95	55	90
	2方エプロン	100		

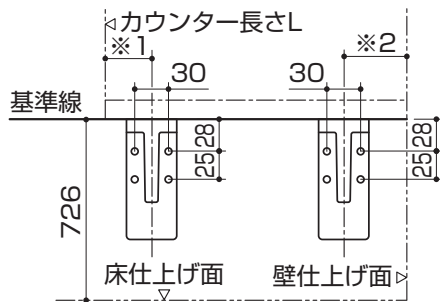
		カウンター長さ 1789以下	カウンター長さ 1790以上
Lサイズ	1方エプロン※3	55	90
	2方エプロン		

※2 立管の場合、カウンター長さLはカウンター+立管になります。

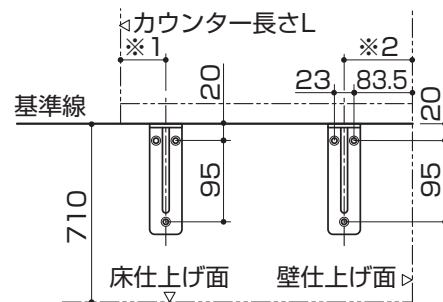
※3 1方エプロンの場合は表寸法+5でがいてください。

側面設置（単体タイプ）／対面設置の場合

クリスタルカウンター以外の場合



クリスタルカウンターの場合



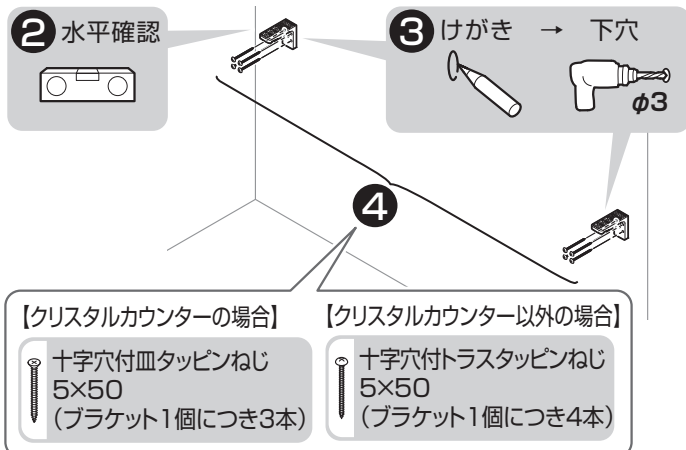
プラン図の情報をもとに設置位置をご確認ください。取付高さはブラケット上面を基準線にあわせてください。

※1 方エプロンの場合は表寸法+5でがいてください。

※1 ※2 カウンター長さによってブラケット取付位置が異なります。下表位置に取り付けてください。

			※1	※2
側面設置 単体タイプ		カウンター長さ 715	55	55
		カウンター長さ 722	55	55
対面設置 左勝手		カウンター長さ 1219以下	55	70
		カウンター長さ 1220以上	55	90
対面設置 右勝手		カウンター長さ 1219以下	55	70
		カウンター長さ 1220以上	55	90
対面設置 中央		カウンター長さ 794以下	70	70
		カウンター長さ 795～844以下	95	95
		カウンター長さ 845以上	70	70

側面設置/対面設置の場合 共通



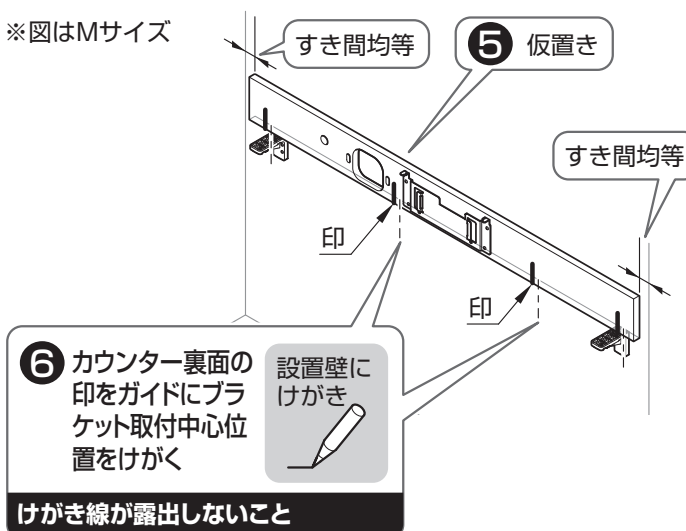
【クリスタルカウンターの場合】

十字穴付皿タッピンねじ
5×50
(ブラケット1個につき3本)

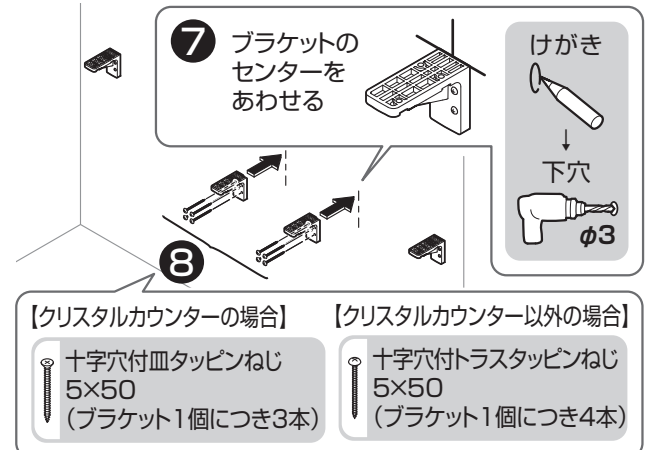
【クリスタルカウンター以外の場合】

十字穴付トラスタッピンねじ
5×50
(ブラケット1個につき4本)

※図はMサイズ



けがき線が露出しないこと



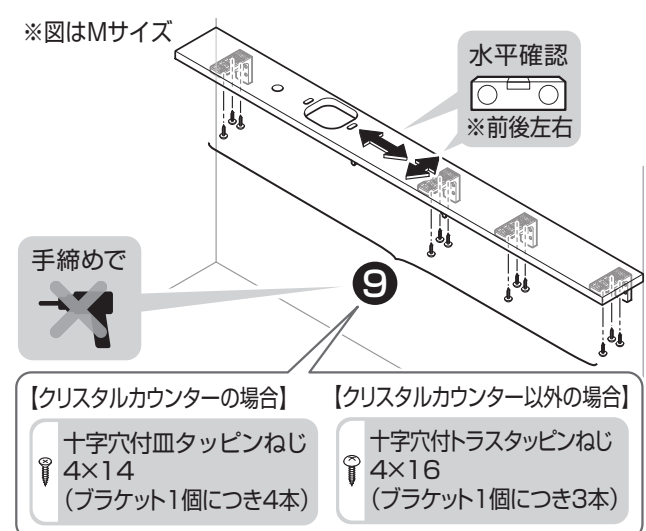
【クリスタルカウンターの場合】

十字穴付皿タッピンねじ
5×50
(ブラケット1個につき3本)

【クリスタルカウンター以外の場合】

十字穴付トラスタッピンねじ
5×50
(ブラケット1個につき4本)

※図はMサイズ



【クリスタルカウンターの場合】

十字穴付皿タッピンねじ
4×14
(ブラケット1個につき4本)

【クリスタルカウンター以外の場合】

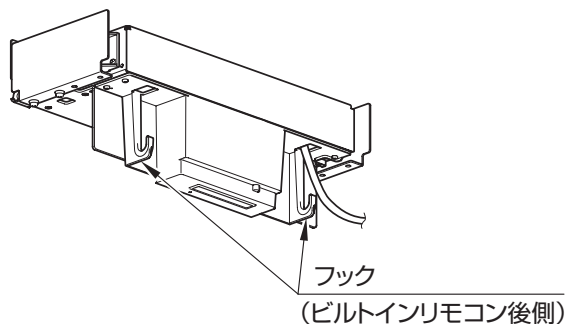
十字穴付トラスタッピンねじ
4×16
(ブラケット1個につき3本)

3.ビルトインリモコン

ビルトインリモコンなしの場合はP.37へ

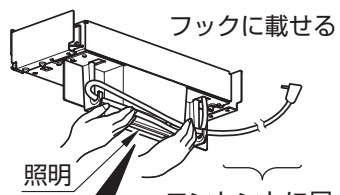
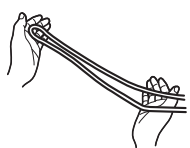
1 ビルトインリモコンの取り付け

①



余ったコードはフックに載せる

コードをまとめる



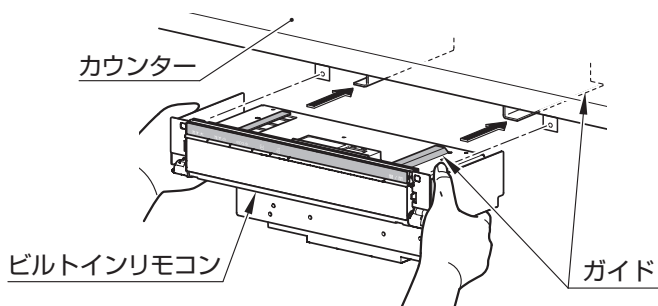
照明

コードが照明にかからないようにする

コンセントに届く長さを保つ

②

ビルトインリモコンと化粧板は傷つきに注意する

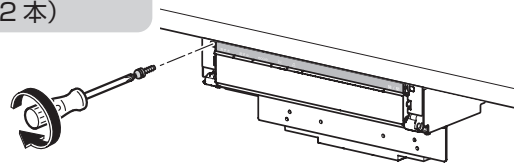


③

ねじはかたくなるまでしっかり締め付ける

十字穴付座金組込なべ小ねじ
M4×10(2本)

手締めで



④

化粧板

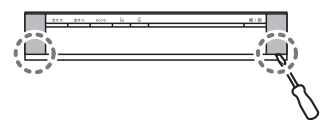
※裏にマグネット付

※化粧板が水平になっているか、すき間が均一か確認する



化粧板の外しかた

施工のやり直しなどで化粧板を取り外すときは、化粧板とビルトインリモコンのすき間にマイナスドライバーなどの工具を差し込み取り外す



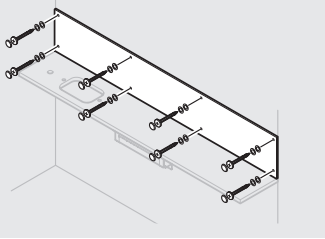
MEMO

4. アクセントパネル

アクセントパネルなしの場合は P.44 へ

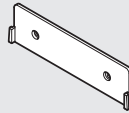
ハンドル式水栓・自動水栓・手洗器なしの場合

2 アクセントパネルの取り付け



▶ P.39

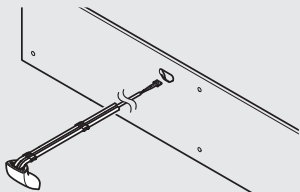
3 リモコンハンガーの取り付け



▶ P.43

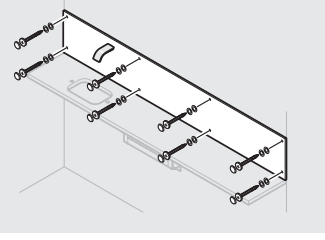
タッチレスウォール水栓の場合

1 水栓金具の取り付け



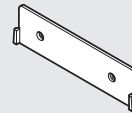
▶ P.38

2 アクセントパネルの取り付け



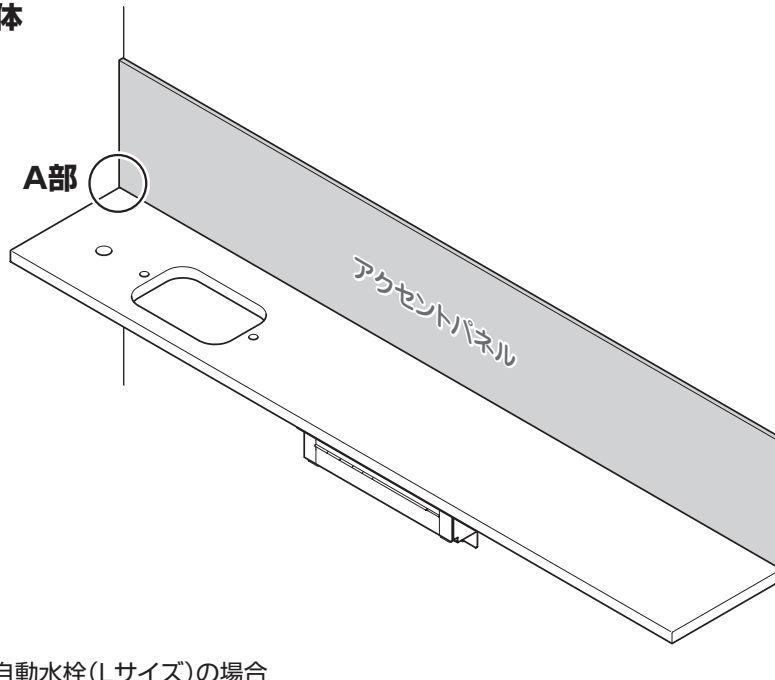
▶ P.39

3 リモコンハンガーの取り付け



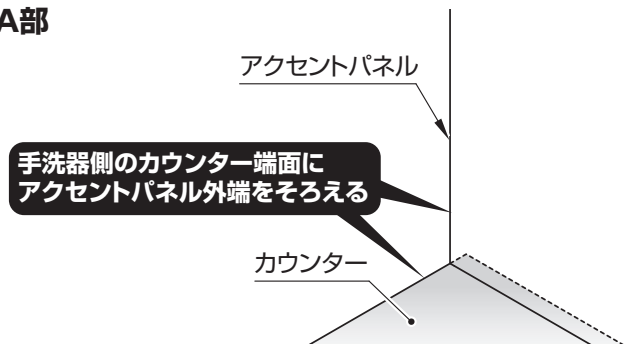
▶ P.43

完成イメージ① 全体



※図はハンドル式水栓・自動水栓(Lサイズ)の場合

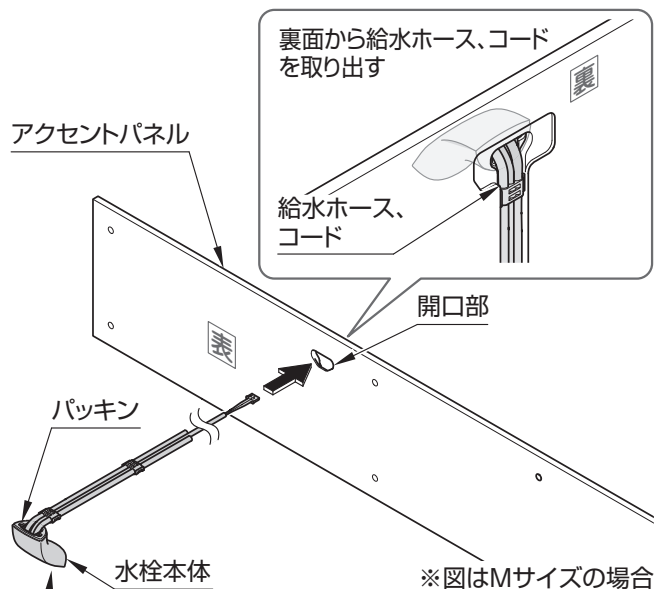
完成イメージ② A部



タッチレスウォール水栓の場合

タッチレスウォール水栓以外
の場合…P.39 **2**へ**1** 水栓金具の取り付け

- ①** アクセントパネル表面から、開口部に水栓の給水ホース、コードを挿入する



- ・パッキンがはみ出さないよう水平に取り付ける
- ・ねじを片方だけ固定後、回転して取り付けない
- ※水栓本体に取り付いているパッキンがずれてはみ出すおそれがあります。

- ②** アクセントパネルと固定金具の切り欠き同士があうようにセットし、ねじで固定する

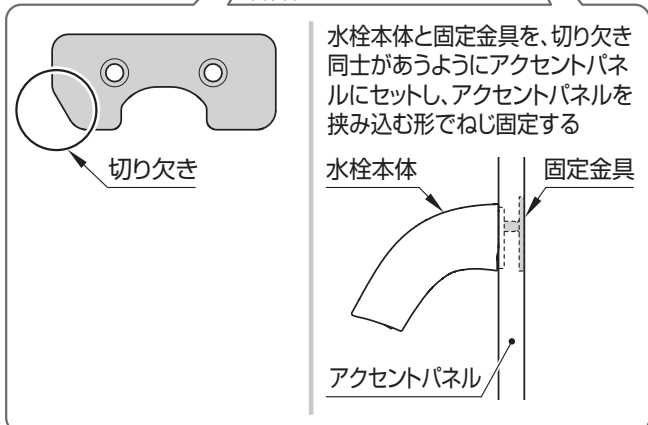
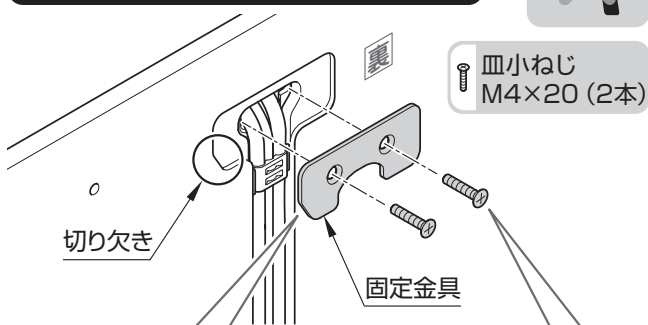
同梱の六角棒レンチはメンテナンス用です。必ずお客様にお渡しください。



手締めで



皿小ねじ
M4×20 (2本)

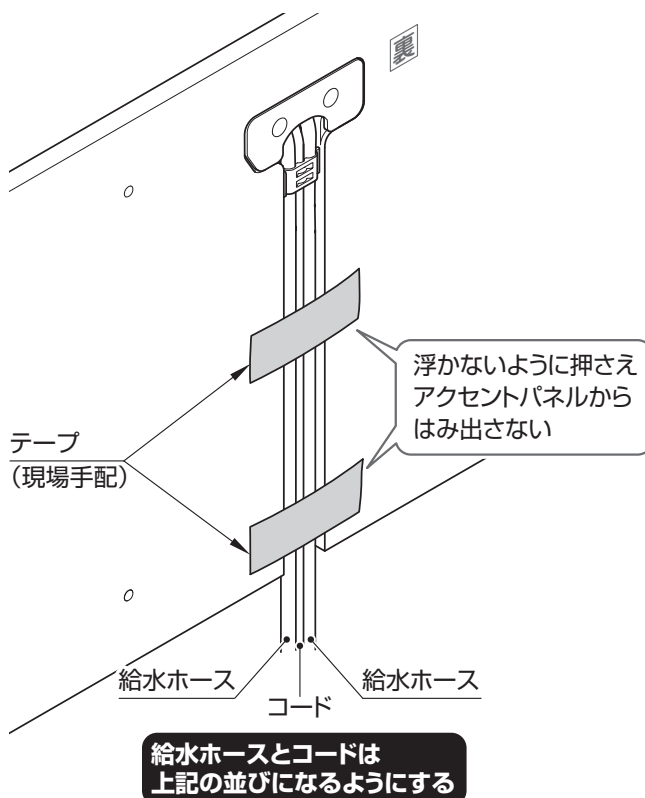


- ③** アクセントパネル裏面にテープをはる

! 注意

必ず守る

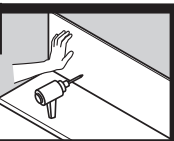
- ・水栓を持たない
 - ・給水ホースを挟み込まないように注意する
- 給水ホースに傷がついて水漏れしたり、アクセントパネルや水栓が破損するおそれがあります。

水栓の両側の
パネルを持つ

2 アクセントパネルの取り付け

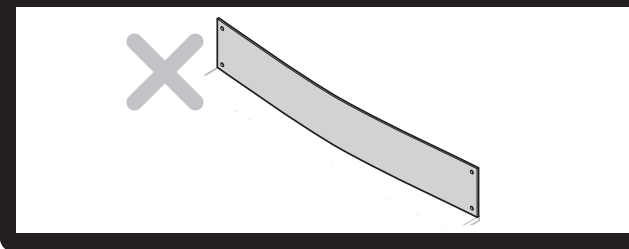
アクセントパネル固定のご注意

手で押さえながら固定してください。



アクセントパネルを両端から固定しない

アクセントパネルを両端から固定すると真ん中がたわむおそれがあります。



ハンドル式水栓・自動水栓/手洗器なしの場合

- 1 左勝手の場合は、カウンター左端面にアクセントパネル左端面をあわせる
右勝手の場合は、カウンター右端面にアクセントパネル右端面をあわせる

※図は左勝手の場合

△カウンター端面

アクセントパネル

カウンター

2 アクセントパネルを固定する

※固定方法の詳細は右記参照

ねじは ① から ⑧ の順番で固定する

ねじ ① は **A** の手順

ねじ ② ～ ⑧ は **B** の手順



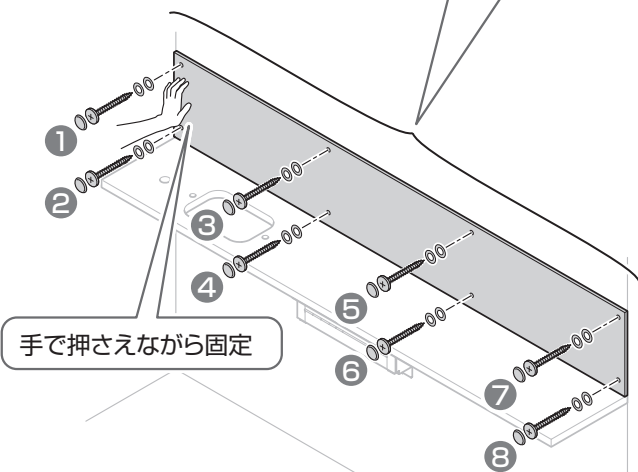
低頭タッピンねじ
4×50(8本)



平座金(24個)
※調節用含む
詳細は右記参照



キャップ
(8個)



手で押さえながら固定

※図は左勝手の場合。右勝手の場合は左右反転。

A. ① ねじの段差調整と固定方法

A-① ねじを垂直に打ち込む

低頭ねじを斜めに打ち込まない
※キャップが歪む原因になります。

下穴



アクセントパネル

アクセントパネル表面▷

A-② ねじの頭がザグリ穴に入ったら、手締めめに切り替える

この状態から手締め

手締めで

アクセントパネル

ザグリ穴

アクセントパネル表面▷

A-③ ねじ固定後に、キャップを取り付けて、キャップとアクセントパネルとの間に段差があるか確認する

キャップ

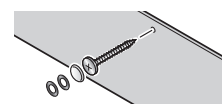
段差

アクセントパネル表面▷

A-④ 段差がある場合は、段差調整用の平座金を段差に押し当てて、段差を最小にするために必要な枚数を確認する

平座金が多すぎて、キャップがアクセントパネルよりも飛び出さないように注意する

※段差がない場合は、平座金は不要です。



段差確認時の取付順番
※固定時の取付順番と異なります。

アクセントパネル

キャップ

平座金

アクセントパネル表面▷

A-⑤ 一度ねじを抜く

平座金

キャップ

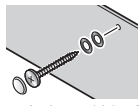
アクセントパネル

アクセントパネル表面▷

A-⑥ A-④で確認した平座金の枚数をねじにセットしてからA-①、A-②の手順でねじを固定し、キャップを取り付ける

※キャップを外す際はテープを使用すると簡単に外せます。

アクセントパネル



固定時の取付順番

段差最小

※キャップがアクセントパネルから飛び出さないこと

平座金

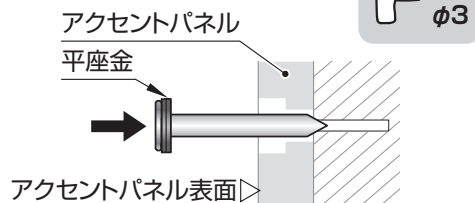
キャップ

アクセントパネル表面▷

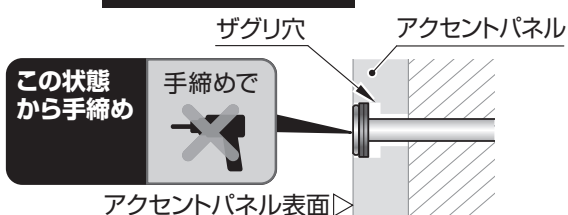
B. ②～⑧ ねじの段差調整と固定方法

B-① ① ねじで使した平座金と同じ枚数を セットし、ねじを垂直に打ち込む

低頭ねじを斜めに打ち込まない
※キャップが歪む原因になります。

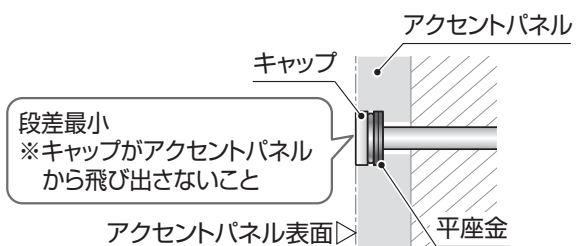


B-② ねじの頭がザグリ穴に入ったら、 手締めで切り替える



B-③ ねじ固定後に、キャップを取り付けて、 キャップとアクセントパネルとの間に段差 があるか確認する 段差がある場合は、A-③④⑤⑥の手順で 段差を最小にする

**平座金が多すぎて、キャップがアクセントパネルよりも
飛び出さないように注意する**



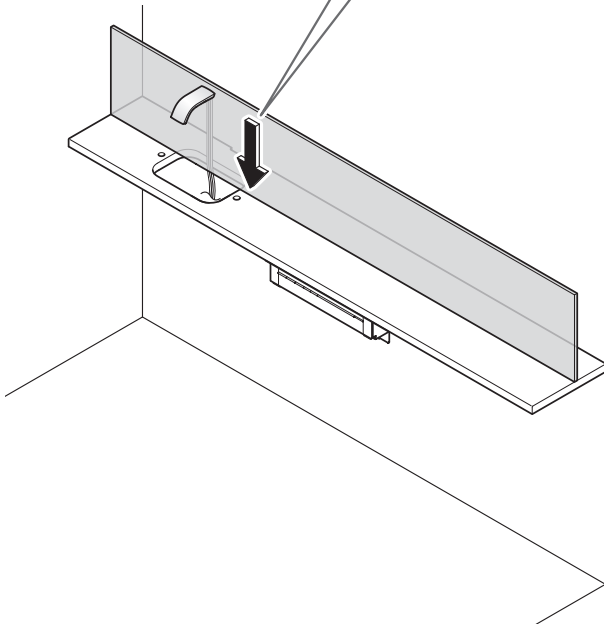
MEMO

タッチレスウォール水栓の場合 ※図はベッセルタイプ(角形)Lサイズの場合

カウンターの表面が傷つかないように養生すること

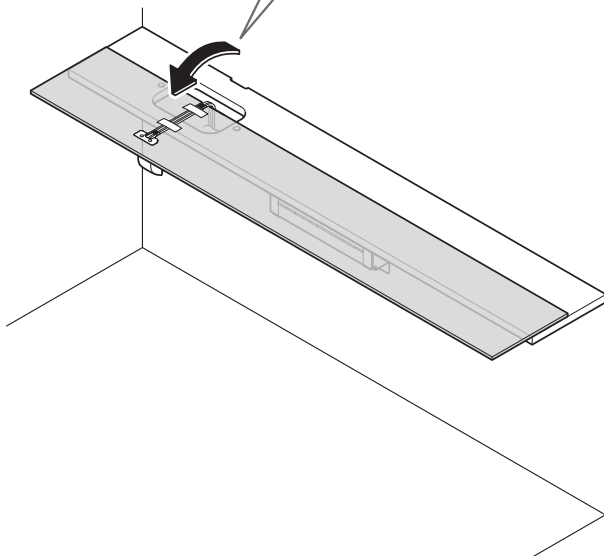
※Mサイズ・Lサイズ共通

- ①** アクセントパネルをカウンターの上に置く
給水ホースとコードは手洗器の開口部を通しておく



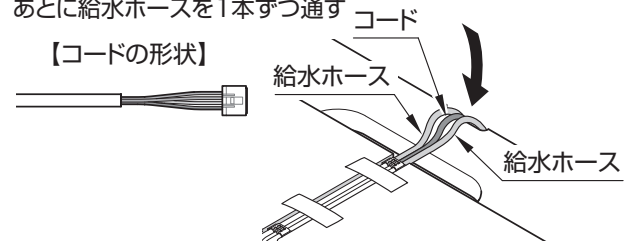
※Lサイズのみ

- ②** アクセントパネルを
手前に倒す

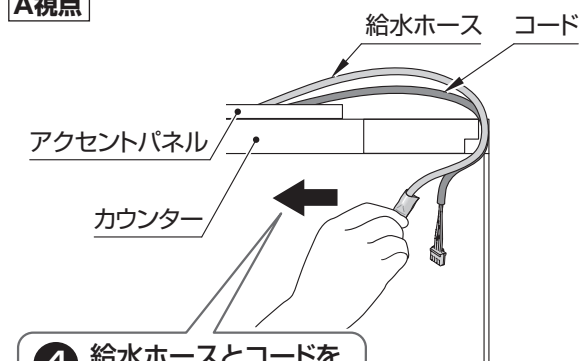


- ③** 給水ホースとコードを切り欠きに通す

給水ホースとコードが重ならないように、コードを先に入れたあとに給水ホースを1本ずつ通す



A視点



- ④** 給水ホースとコードを
下から指で引き出す

※切り欠きの形状はカウンター材質によって異なります。

給水ホース先端を
はみ出るように養生テープを
はり付けると作業しやすくなります。



- ⑤ 左勝手の場合は、カウンター左端面にアクセントパネル左端面をあわせる
右勝手の場合は、カウンター右端面にアクセントパネル右端面をあわせる

※図は左勝手の場合

◀カウンター端面



水栓を持って位置調整をしない
水栓が破損するおそれがあります。

⑥ アクセントパネルを固定する

※固定方法の詳細は右記参照

ねじは ① から ⑧ の順番で固定する

ねじ ① は A の手順

ねじ ② ～ ⑧ は B の手順



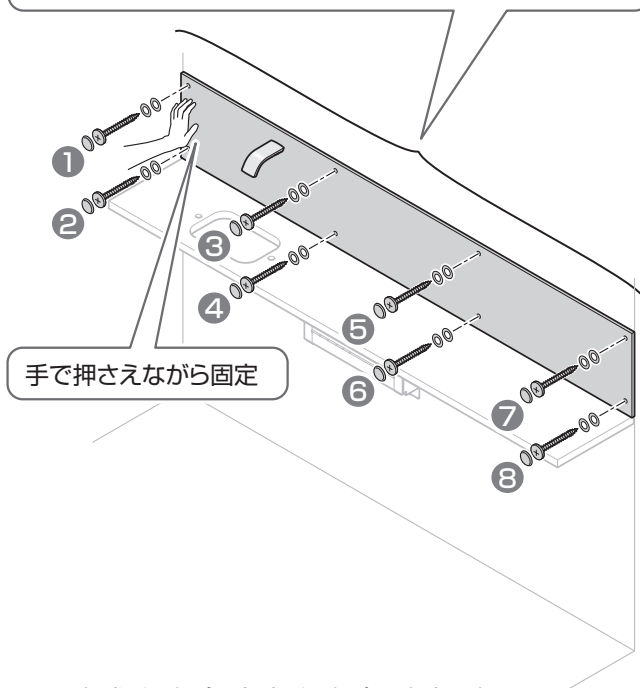
低頭タッピンねじ
4×50 (8本)



平座金 (24個)
※調節用含む
詳細は右記参照



キャップ
(8個)



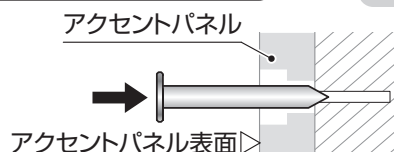
※図は左勝手の場合。右勝手の場合は左右反転。

A. ① ねじの段差調整と固定方法

A-① ねじを垂直に打ち込む

低頭ねじを斜めに打ち込まない
※キャップが歪む原因になります。

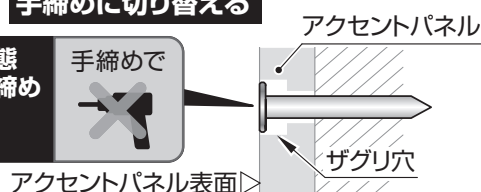
下穴



A-② ねじの頭がザグリ穴に入ったら、手締めめに切り替える

この状態から手締め

手締めで



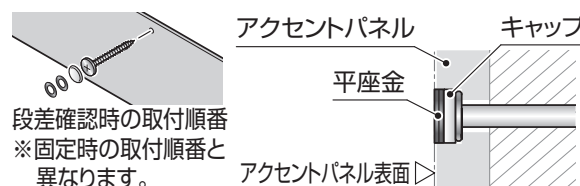
A-③ ねじ固定後に、キャップを取り付けて、キャップとアクセントパネルとの間に段差があるか確認する



A-④ 段差がある場合は、段差調整用の平座金を段差に押し当てて、段差を最小にするために必要な枚数を確認する

平座金が多すぎて、キャップがアクセントパネルよりも飛び出さないように注意する

※段差がない場合は、平座金は不要です。

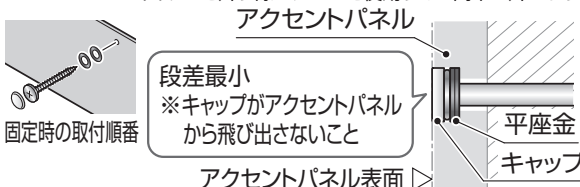


A-⑤ 一度ねじを抜く



A-⑥ A-④で確認した平座金の枚数をねじにセットしてからA-①、A-②の手順でねじを固定し、キャップを取り付ける

※キャップを外す際はテープを使用すると簡単に外せます。



固定時の取付順番

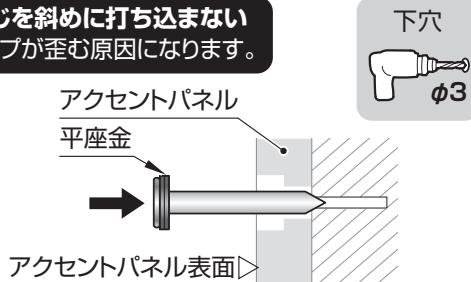
段差最小
※キャップがアクセントパネルから飛び出さないこと

アクセントパネル表面

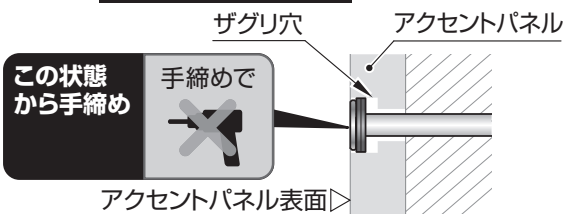
B. ②～⑧ ねじの段差調整と固定方法

B-① ① ねじで使した平座金と同じ枚数をセットし、ねじを垂直に打ち込む

低頭ねじを斜めに打ち込まない
※キャップが歪む原因になります。

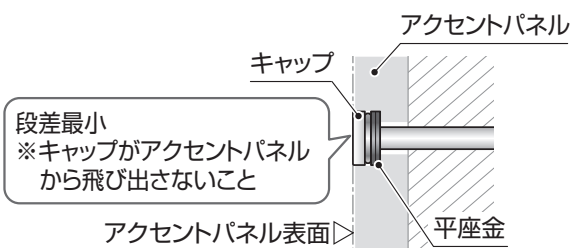


B-② ねじの頭がザグリ穴に入ったら、手締めで切り替える



B-③ ねじ固定後に、キャップを取り付けて、キャップとアクセントパネルとの間に段差があるか確認する 段差がある場合は、A-③④⑤⑥の手順で段差を最小にする

平座金が多すぎて、キャップがアクセントパネルよりも飛び出さないように注意する



3 リモコンハンガーの取り付け

① リモコンハンガーを取り付ける

参照 リモコンハンガーの取り付け：
ウォシュレットの施工説明書

- ・アクセントパネル本体内部にリモコン本体が収まるよう設置する
- ・アクセントパネル固定ねじに干渉しないよう設置する
アクセントパネルをまたぐようにリモコン本体を設置すると、リモコン本体が外れるおそれがあります。

MEMO

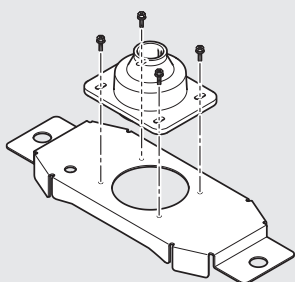
5.手洗器・水栓金具

手洗器なしの場合はP.55へ

5

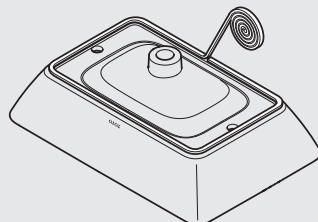
手洗器・水栓金具

1 排水ソケットの組み付け



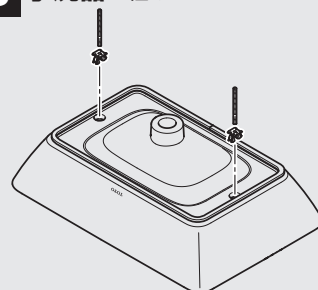
▶P.45

2 クッション材のはり付け



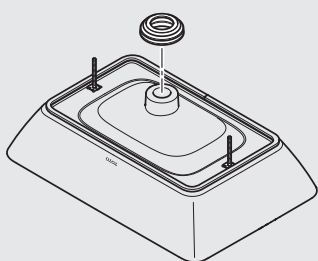
▶P.45

3 手洗器の組み立て



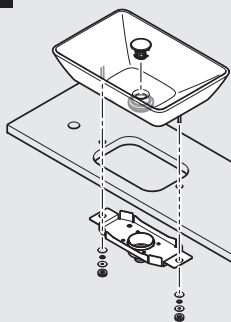
▶P.46

4 パッキン(排水口)の取り付け



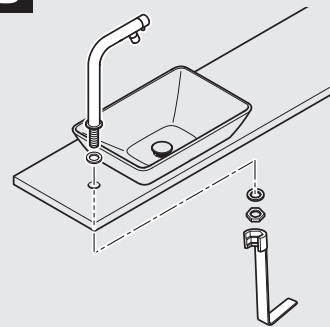
▶P.46

5 手洗器の取り付け



▶P.47

6 水栓金具の取り付け

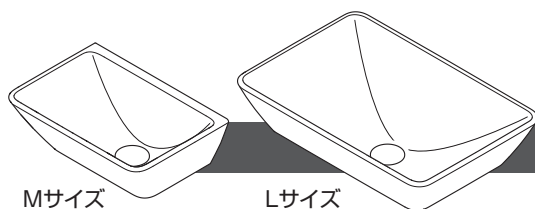


▶P.48

手洗器の種類と、手順を確認して施工してください。

※手洗器の種類で手順が異なります。

手洗器、各手順について

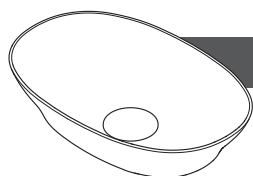


Mサイズ

Lサイズ

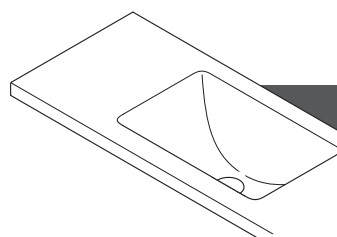
ベッセルタイプ(角形)(M サイズ / L サイズ)の場合

1 ▶ 2 ▶ 3 ▶ 4 ▶ 5 ▶ 6



ベッセルタイプ(丸形)の場合

2 ▶ 3 ▶ 5 ▶ 6



ボウル一体タイプの場合

5 ▶ 6

1 排水ソケットの組み付け

ベッセルタイプ(角形)(Mサイズ/Lサイズ)の場合

※図はLサイズの場合

! 注意



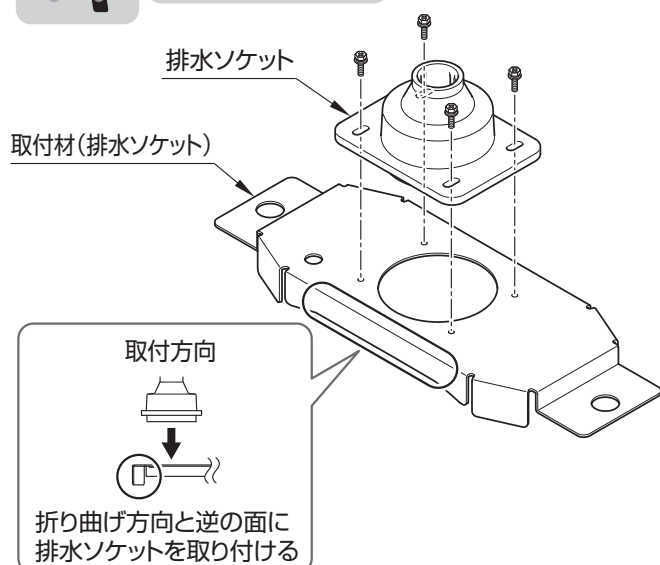
必ず守る

取付後、排水ソケットと取付材(排水ソケット)の間にすき間がないことを確認する
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

手締めで



十字穴付座金組込
なべ小ねじ
M4×12、鉄(4本)

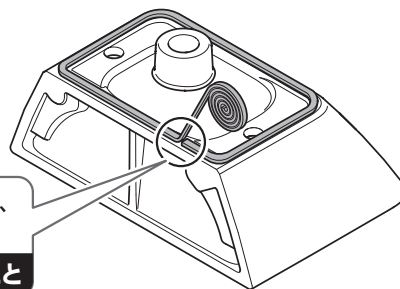


ベッセルタイプ(角形)(Mサイズ)の場合

2-1 底面全周にはり付ける

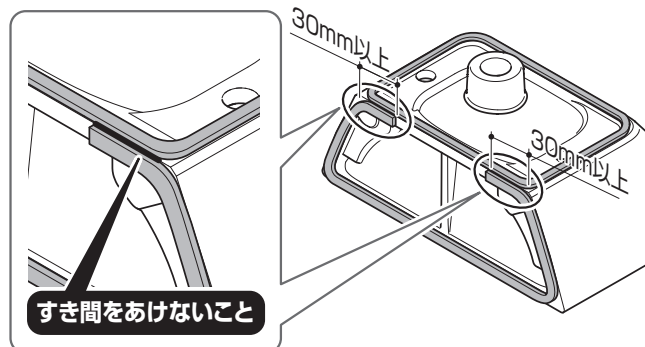
継ぎ目は裏側にし、
重ねる

すき間をあけないこと



2-2 背面にはり付ける

すき間をあけないこと

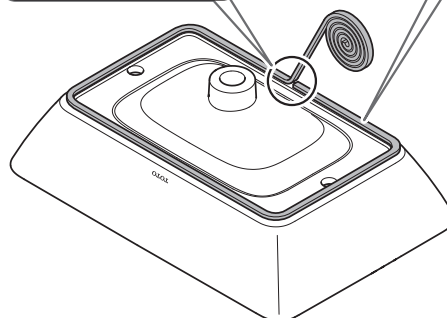


ベッセルタイプ(角形)(Lサイズ)の場合

継ぎ目は裏側にし、
重ねる

すき間をあけないこと

底面全周にはり付ける

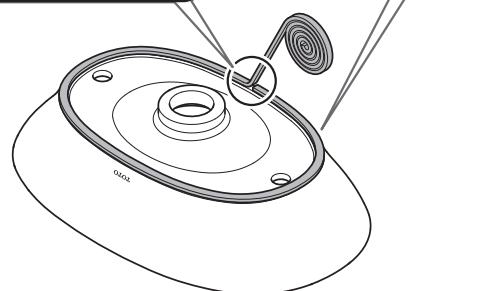


ベッセルタイプ(丸形)の場合

継ぎ目は裏側にし、
重ねる

すき間をあけないこと

底面全周にはり付ける



2 クッション材のはり付け

1 はり付け面の汚れ・ホコリなど十分にふき取る

2 クッション材の剥離紙をはがしながら、
右記の位置にクッション材をはり付ける

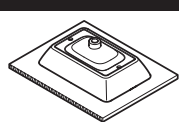
! 注意



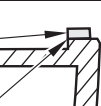
必ず守る

クッション材のはり付けは確実に行う
水などが浸入してコンセントにかり、
火災や感電の原因となります。

- ・手洗器上面を下側にする際は、
段ボールなどを敷く
手洗器に傷が付かないように
してください。
- ・手洗器の内側コーナー部に
あわせてはり付ける
設置後にクッション材がはみ
出すことがあります。



クッション材
内側コーナー部
にあわせる



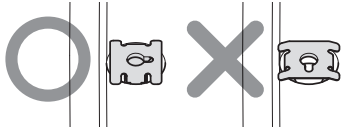
3 手洗器の組み立て

ベッセルタイプ(角形)(Mサイズ/Lサイズ)の場合

※図はLサイズの場合

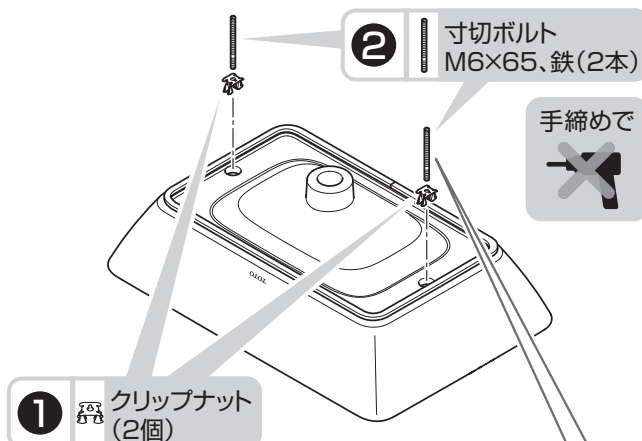
・平らな面にクリップナットを取り付ける

クリップナットが奥まで入らず、手洗器に吻合しません。

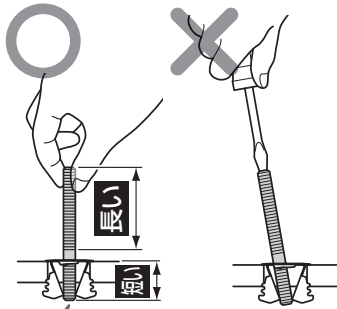


・陶器とのすき間がなくなるまで、しっかり押し込む

寸切ボルトが途中までしか入らず、手洗器が固定できません。



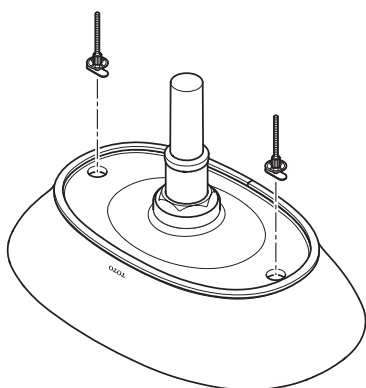
・ボルトをドライバーで深く締めない
ボルトが斜めに入り、陶器がカウンターにおさまらないことがあります。
・斜めに入ったねじを無理に真っすぐにしない



軽く、手でつまんで、入るまで締める

ベッセルタイプ(丸形)の場合

参照 手洗器組立手順:手洗器同梱の施工説明書



4 パッキン(排水口)の取り付け

ベッセルタイプ(角形)(Mサイズ/Lサイズ)の場合

※図はLサイズの場合

⚠ 注意



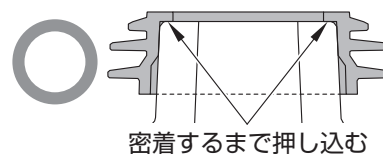
禁止

パッキン(排水口)にグリスを使用しない
劣化し水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

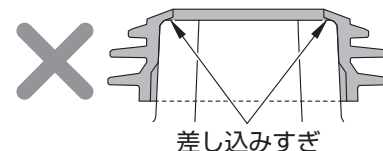


必ず守る

パッキン(排水口)は手洗器排水口に密着するまで押し込む
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。



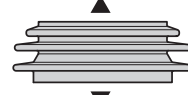
密着するまで押し込む



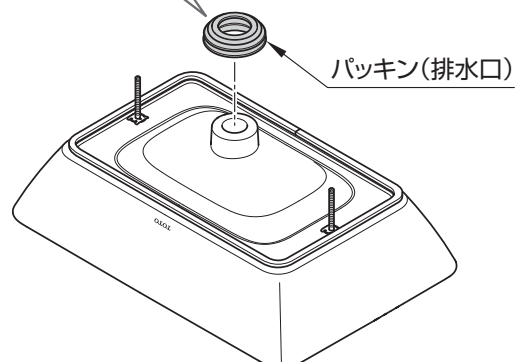
差し込みすぎ

手洗器排水口外周の汚れを取り除き、装着する

排水ソケット側



手洗器排水口装着側



パッキン(排水口)

5 手洗器の取り付け

ベッセルタイプ(角形)(Mサイズ)の場合

バックパネル(選択商品)の取り付けは、手洗器固定前に行う

参照 バックパネルの施工説明書

⚠ 注意



必ず守る

パッキン(排水口)がセットされていることを確認する

水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

手洗器を壁に押し当てる

2 目皿を取り付ける

取付材(排水ソケット)

ばね座金
M6(2個)

平座金
M6(4個)

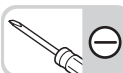
1 ボルトの先端が見えるまで
ローレットナットを入れる

ローレットナット
M6(2個)

- ・ボルトができるだけ真っすぐ入るよう、手を沿えて締め込む
※若干斜めになっても、ローレットナットの締め付けができれば問題ありません。
- ・ローレットナットの締め込み後、必ず陶器にがたつきがないことを確認する

3 しっかりボルトを締め込む
※締め付け時、陶器との摩擦音が
鳴ることがあります。

4 ローレットナットを
しっかり締め付ける



手締めで

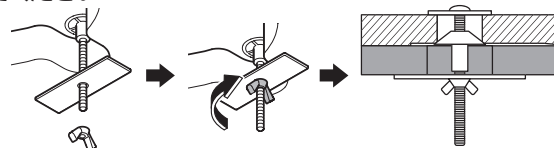
ベッセルタイプ(丸形)の場合

左右の位置を調整

固定用板金

M4 蝶ナット

取付ボルト2カ所へ固定用板金を当て、蝶ナットで締め付けてください



ベッセルタイプ(角形)(Lサイズ)の場合

⚠ 注意



必ず守る

パッキン(排水口)がセットされていることを確認する

水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

2 目皿を取り付ける

取付材(排水ソケット)

ばね座金
M6(2個)

平座金
M6(4個)

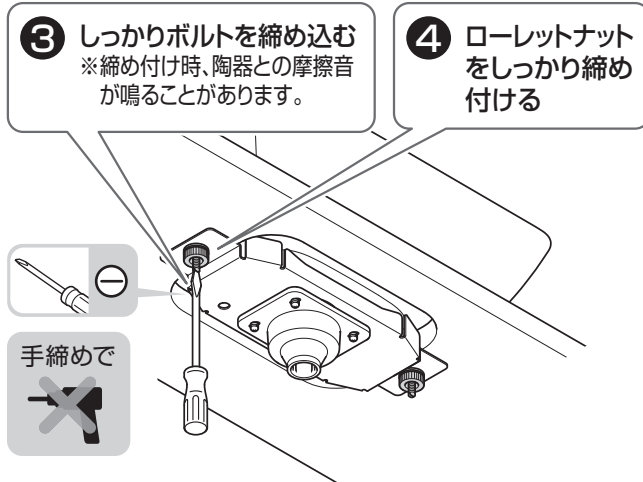
1 ボルトの先端が見えるまで
ローレットナットを入れる

ローレットナット
M6(2個)

5

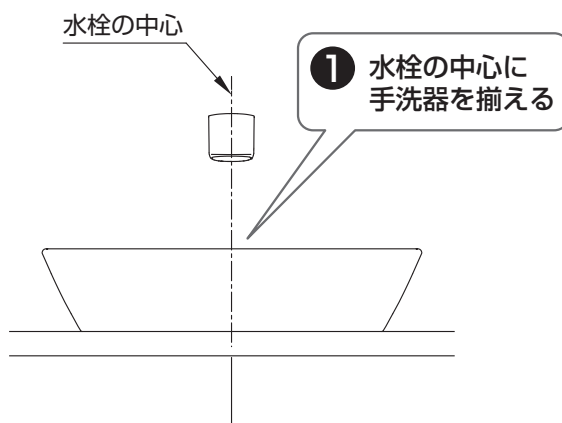
手洗器・水栓金具

- ボルトができるだけ真っすぐ入るよう、手を沿えて締め込む
※若干斜めになっても、ローレットナットの締め付けができれば問題ありません。
- ローレットナットの締め込み後、必ず陶器にがたつきがないことを確認する

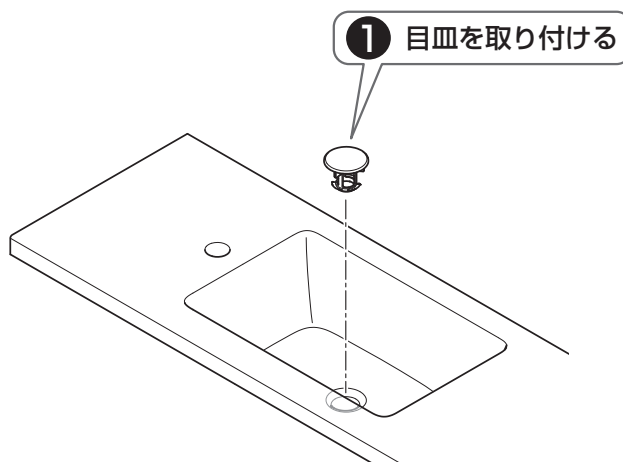


タッチレスウォール水栓の場合

※図はベッセルタイプ(角形)(Lサイズ)の場合



ボール一体タイプの場合

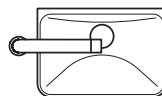


6 水栓金具の取り付け

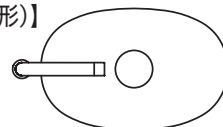
吐水口の向き

※図はハンドル式水栓の場合

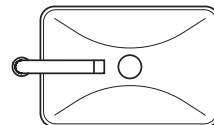
【ベッセルタイプ(角形)(Mサイズ)】



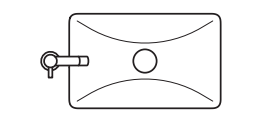
【ベッセルタイプ(丸形)】



【ベッセルタイプ(角形)(Lサイズ)】



【ボール一体タイプ】



自動水栓の場合

参照 水栓金具の取り付け：
自動水栓の施工説明書

タッチレスウォール水栓の場合

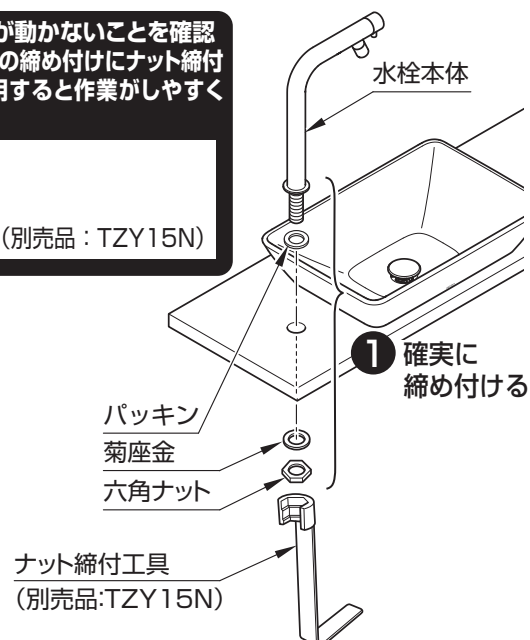
タッチレスウォール水栓の場合 【Mサイズ】 【Lサイズ】
▶ P.38 参照

ハンドル式水栓の場合

• 水栓本体が動かないことを確認
• 六角ナットの締め付けにナット締付
工具を使用すると作業がしやす
くなります。



(別売品：TZY15N)



6.フレキホース・電気温水器

手洗器なしの場合はP.55へ

ハンドル式水栓の場合

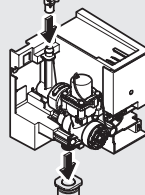
1 フレキホースの 取り付け



▶P.49 壁給水 ▶P.50 床給水

タッチレスウォール水栓の場合

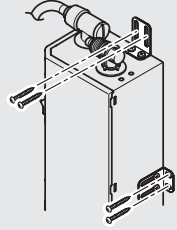
2 機能部・スパウト連結ホース の取り付け



▶P.51 壁給水/床給水

自動水栓・タッチレスウォール水栓
(電気温水器付)の場合

3 電気温水器の 取り付け



▶P.53

1 フレキホースの取り付け

ハンドル式水栓の場合（壁給水）

⚠ 注意



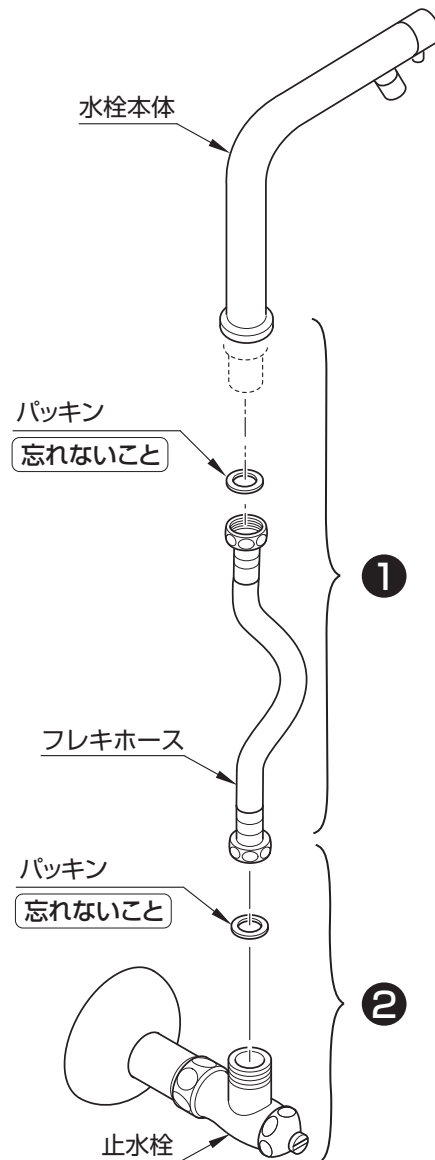
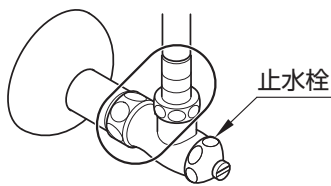
必ず守る

フレキホースは折らない

折れ曲がりによる吐水不良の原因となります。
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因と
なります。

- ・フレキホースを必要以上の力で曲げて折らないように注意する
フレキホースの最小曲げ半径は 60mmです。それよりも
小さく曲げて使用すると、フレキホースが折れ、十分な流量
が出ない場合や破損・水漏れのおそれがあります。
- ・フレキホースを無理に引っ張らない
フレキホースが折れる可能性があります。
- ・給水管の各接続部は増し締めする

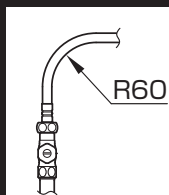
水漏れを確認



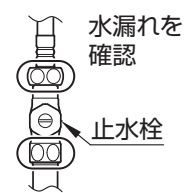
ハンドル式水栓の場合（床給水）

- ・フレキホースを必要以上の力で曲げて折らないように注意する

フレキホースの最小曲げ半径は 60mm です。それよりも小さく曲げて使用すると、フレキホースが折れ、十分な流量が出ない場合や破損・水漏れのおそれがあります。

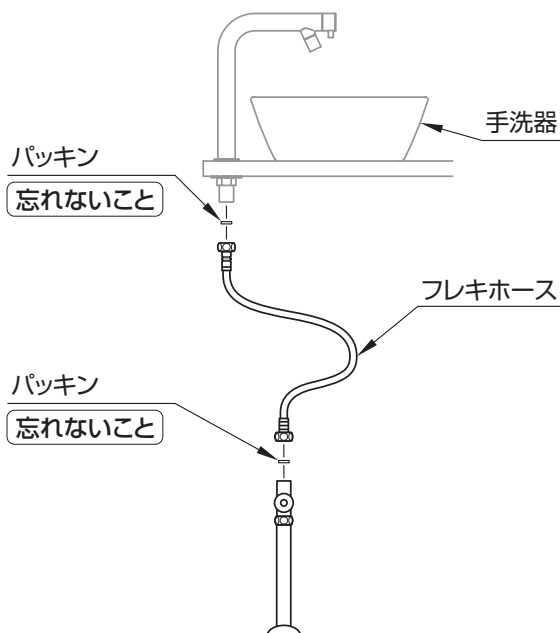


- ・フレキホースを無理に引っ張らない
フレキホースが折れる可能性があります。
- ・給水管の各接続部は増し締めする

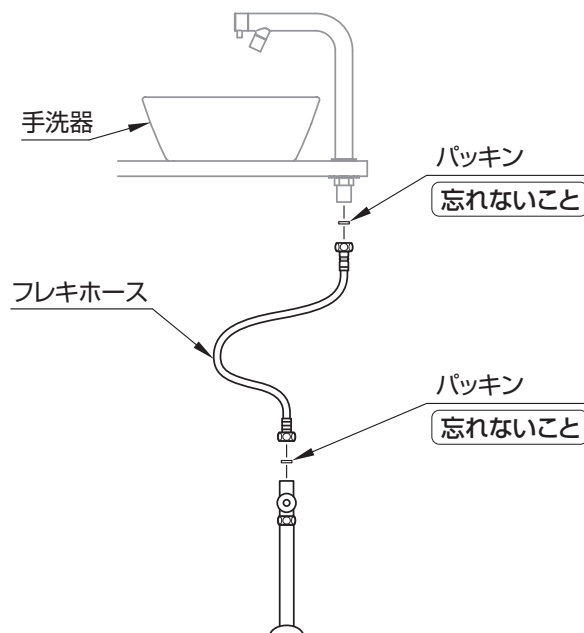


Mサイズ

【左勝手】



【右勝手】

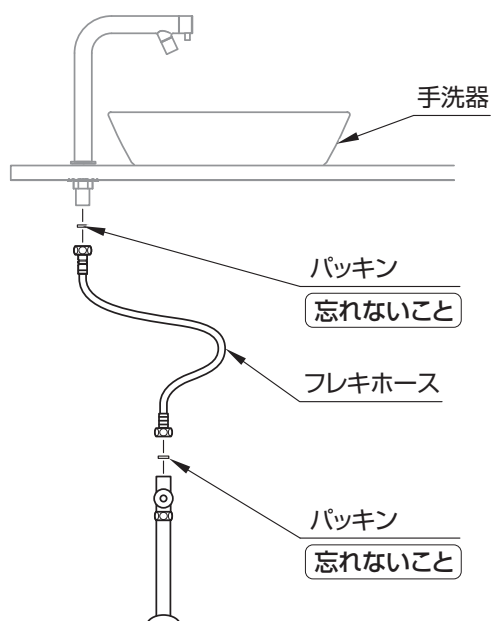


Lサイズ

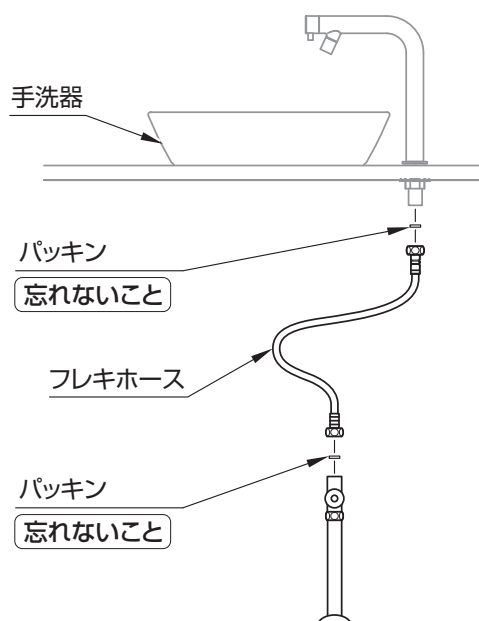
ベッセルタイプ(丸形)、ベッセルタイプ(角形)、ポウル一体タイプとも共通です。

※図はベッセルタイプ(角形)

【左勝手】



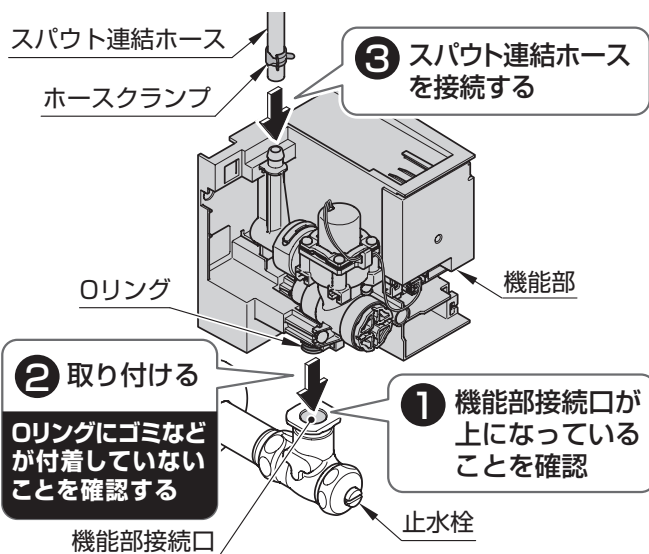
【右勝手】



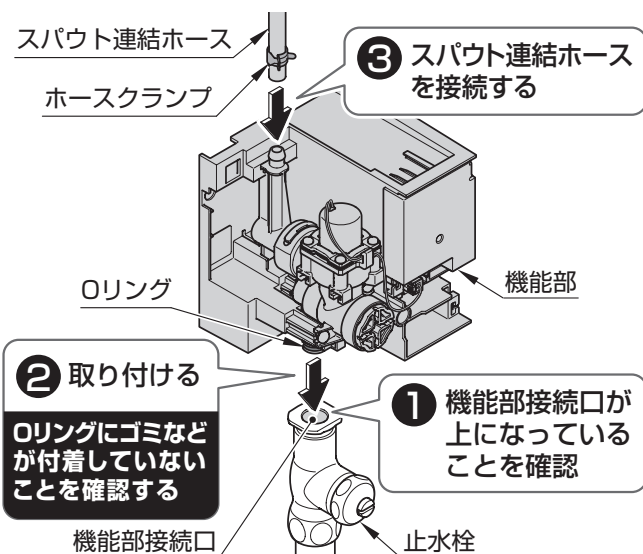
2 機能部・スパウト連結ホースの取り付け

タッチレスウォール水栓の場合

壁給水の場合

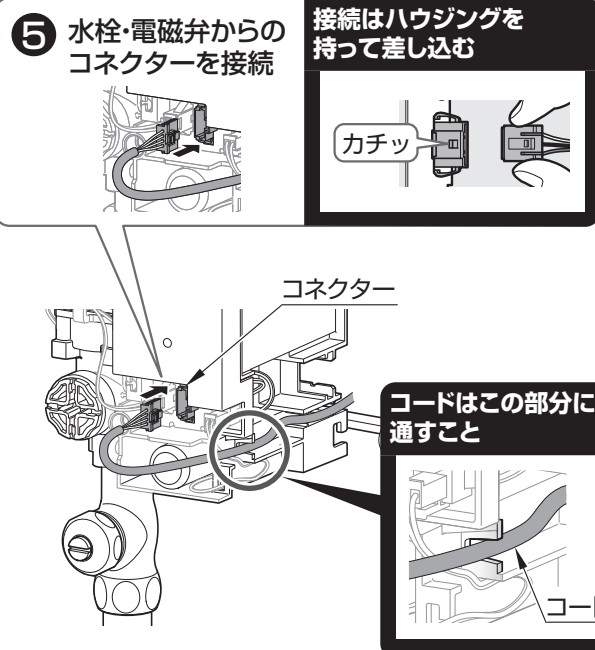


床給水の場合



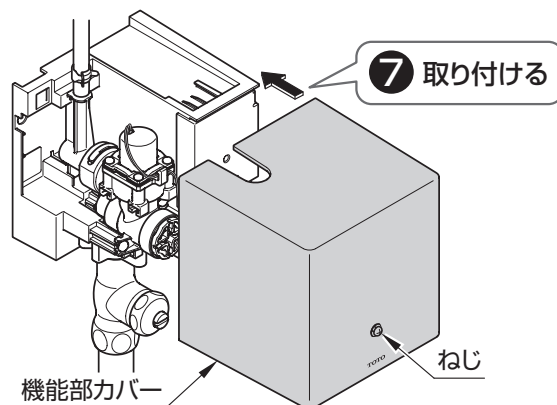
共通

※図は床給水の場合



※図は床給水の場合

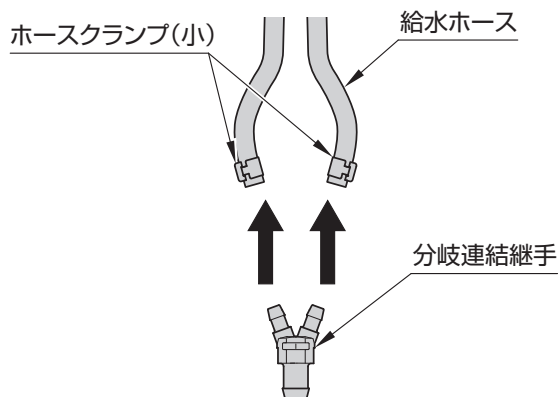
⑥ 下記内容を確認する
コネクターが確実に接続されているか
クイックファスナーが確実に差し込まれて固定されているか



・機能部カバーは確実に取り付ける
・機能部の取り付け向きを確認する
・機能部カバーを取り付ける際は、コードのかみ込みに注意する

タッチレスウォール水栓の場合

- ① 分岐連結継手に給水ホース2本を差し込み、ホースクランプ(小)で固定する



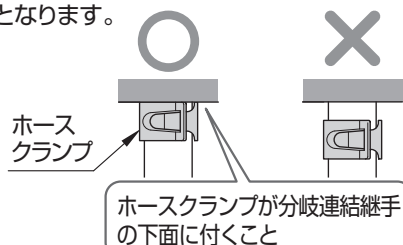
注意

スパウト連結ホースを切断する際は、カッターなどを用い、切断面が90°垂直になるようにする
斜めに切断すると水漏れのおそれがあります。

・ホースクランプは所定の位置にくるようにする
・必ずホースクランプでスパウト連結ホースを固定する
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。



必ず守る

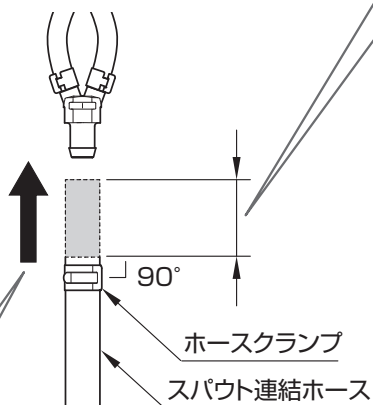


- ② スパウト連結ホースを分岐連結継手にあうように適切な長さに切断する

カット



切断後の端面の仕上げに注意すること



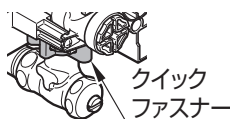
- ③ 分岐連結継手に②でカットしたスパウト連結ホースを差し込み、ホースクランプで固定する

注意

- ・スパウト連結ホースが確実に差し込まれているか確認する
- ・スパウト連結ホースが折れ曲がらないよう注意する
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

スパウト連結ホース接続後、軽く引っ張り抜けないこと
斜めに切断すると水漏れのおそれがあります。

クイックファスナーの取り付けは、確実に行う
不完全な場合、外れて水漏れのおそれがあります。

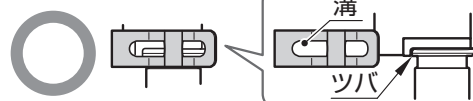


- すき間がないよう、確実に押し込む



必ず守る

- クイックファスナーの溝にツバが全周にかかっていること

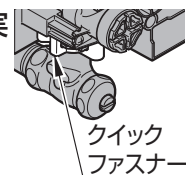


- クイックファスナー取付後は、正しく取り付いていることを目視や鏡で確認する



- クイックファスナーが確実に取り付けられているか確認する

クイックファスナーが正常に取り付けられていない場合、機能部カバーが取り付けません。



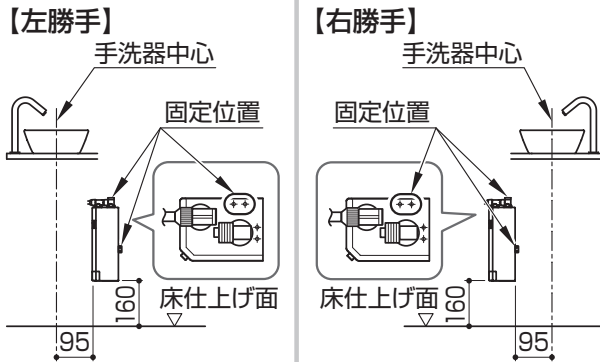
3 電気温水器の取り付け

自動水栓・タッチレスウォール水栓（電気温水器付）の場合

参照 取付方法：電気温水器の施工説明書。取付位置と機能部の接続については本書を参照してください。

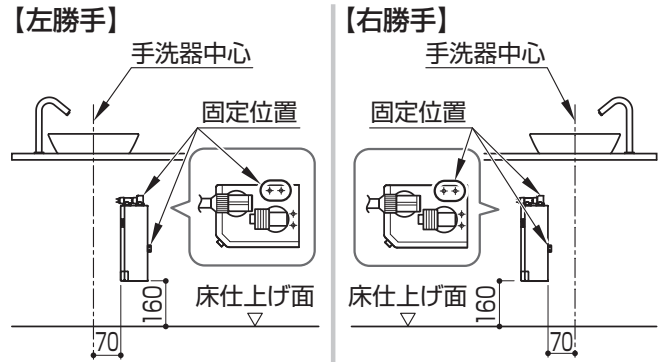
電気温水器取付位置

Mサイズ



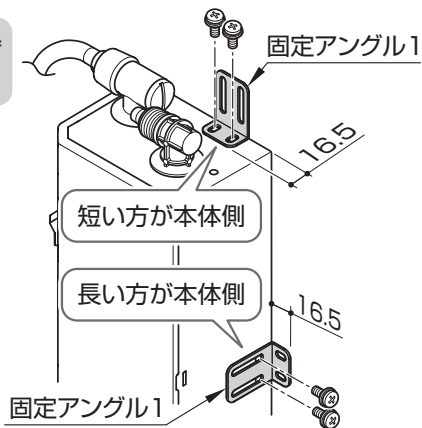
Lサイズ

ベッセルタイプ(丸形)、ベッセルタイプ(角形)、ポウル一体タイプとも共通です。
※図はベッセルタイプ(角形)の場合



① 固定アングル1を本体に取り付ける

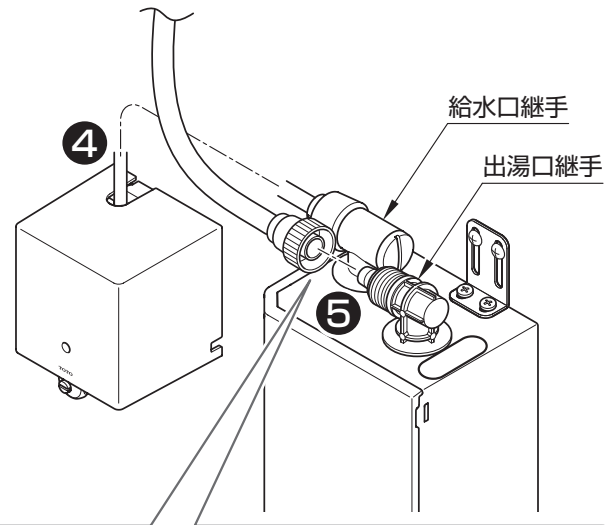
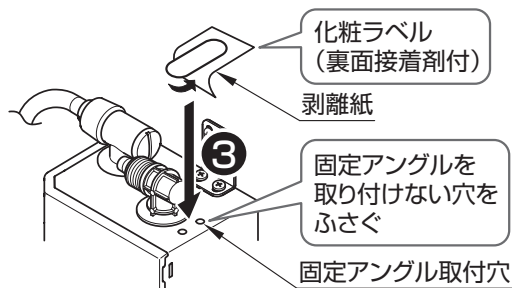
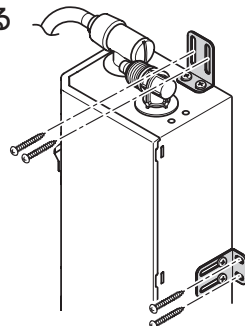
十字穴付座金組込
なべ小ねじ
M4×10(4本)



② 電気温水器を壁に固定する

十字穴付なべタッピンねじ
4×30(4本)

下穴



⚠ 注意



- ・スパウト連結ホースが確実に差し込まれているか確認する
 - ・スパウト連結ホースが折れ曲がらないよう注意する
- 水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。

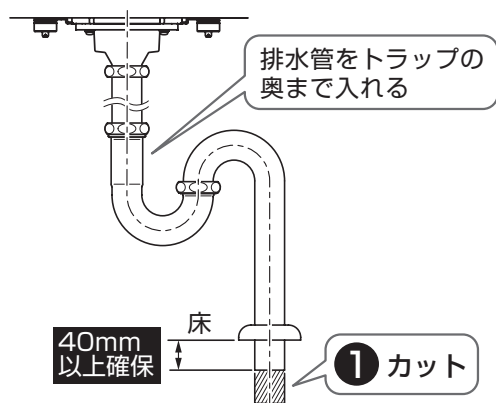
7.排水トラップ

手洗器なしの場合はP.55へ

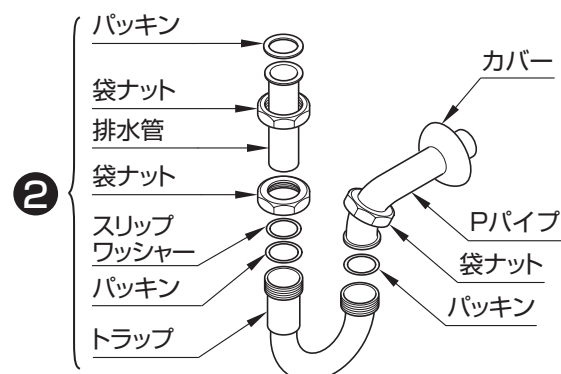
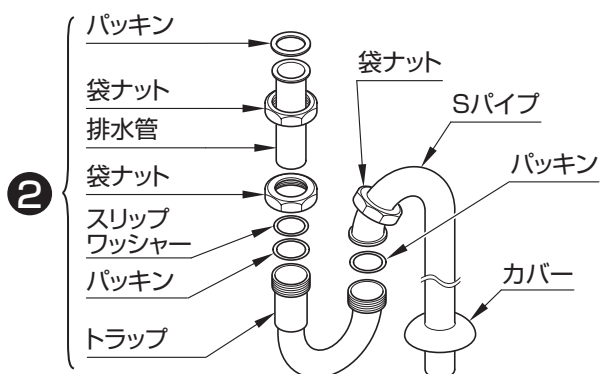
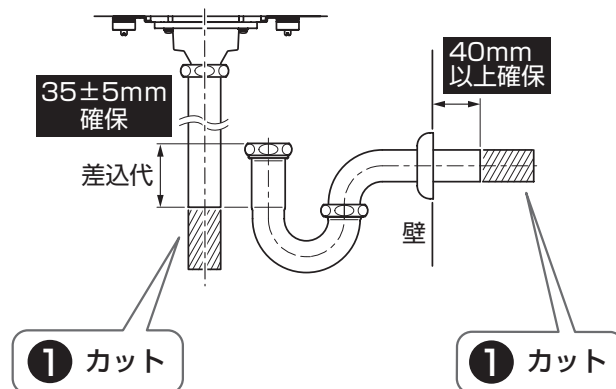
1 排水トラップの取り付け

ベッセルタイプ(角形)・ボウル一体タイプの場合

床排水の場合



壁排水の場合

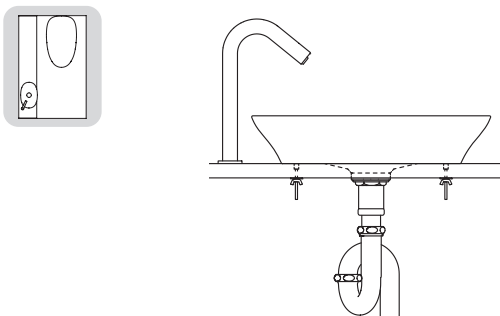


ベッセルタイプ(丸形)の場合

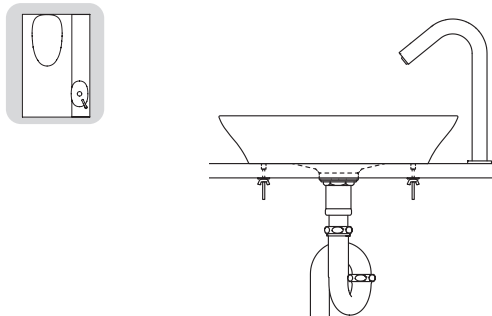
参照 排水トラップの取り付け:排水金具に同梱の施工説明書

排水管の取り回し(床排水の場合)

【左勝手】



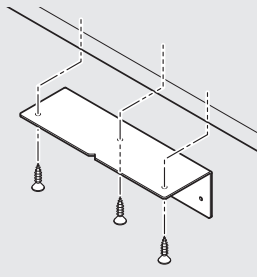
【右勝手】



8.紙巻器

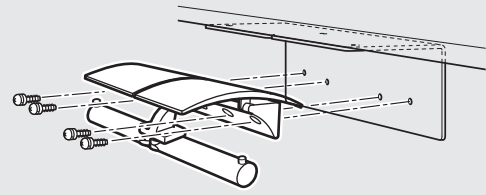
ビルトインリモコンなしの場合

1 取付材(紙巻器)の取り付け



▶P.55

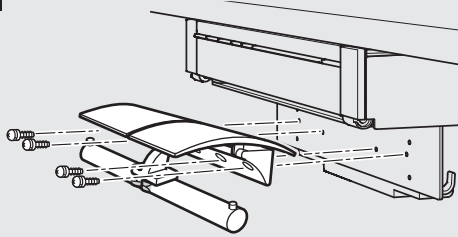
2 紙巻器の取り付け



▶P.56

ビルトインリモコンありの場合

2 紙巻器の取り付け



▶P.57

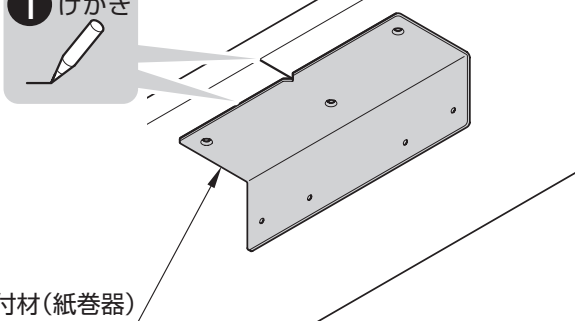
ビルトインリモコンなしの場合

1 取付材(紙巻器)の取り付け

メタル製紙巻器の場合

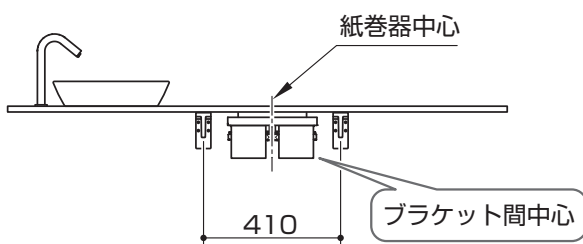
1 取付材(紙巻器)の位置出しをする

1 けがき



取付材(紙巻器)

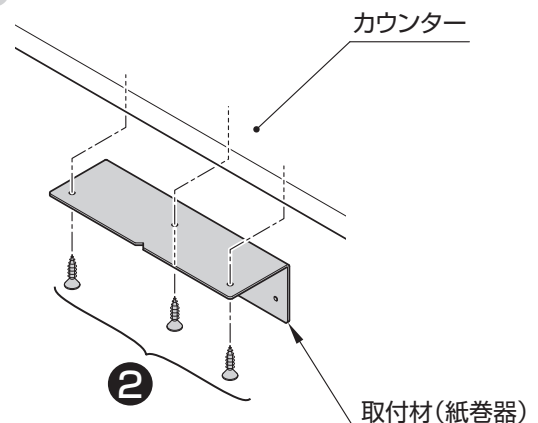
【左右方向】



【前後方向】

木質製カウンター	マーブライトカウンター クリスタルカウンター
カウンター前端から 取付材(紙巻器)の前端 35 取付材(紙巻器)	裏張材の前端と取付材(紙巻器)の 前端をあわせる 裏張材 取付材(紙巻器) ※図はマーブライトカウンター

手締めで

十字穴付皿タッピンねじ
4×12(3本)

ビルトインリモコンなしの場合

2 紙巻器の取り付け

メタル製紙巻器の場合



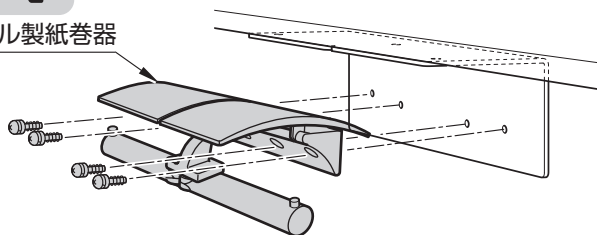
同梱の十字穴付なべタッピンねじ
4×40(4本)は使わない
取付材(紙巻器)を破損するおそれがあります。

手締めで



十字穴付座金組込なべ小ねじ
M4×8(4本)

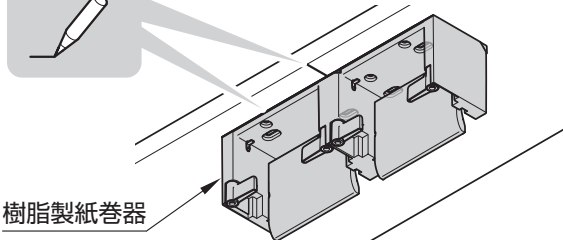
メタル製紙巻器



樹脂製紙巻器の場合

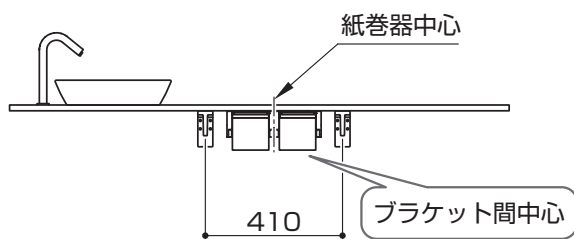
1 紙巻器の位置出しをする

1 けがき



樹脂製紙巻器

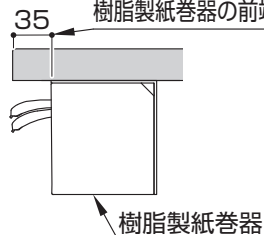
【左右方向】



【前後方向】

木質製カウンター

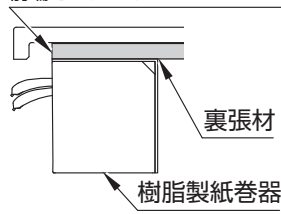
カウンター前端から
樹脂製紙巻器の前端



樹脂製紙巻器

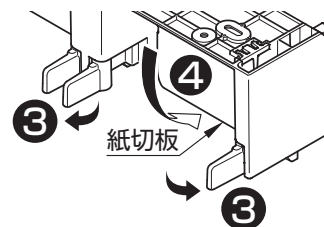
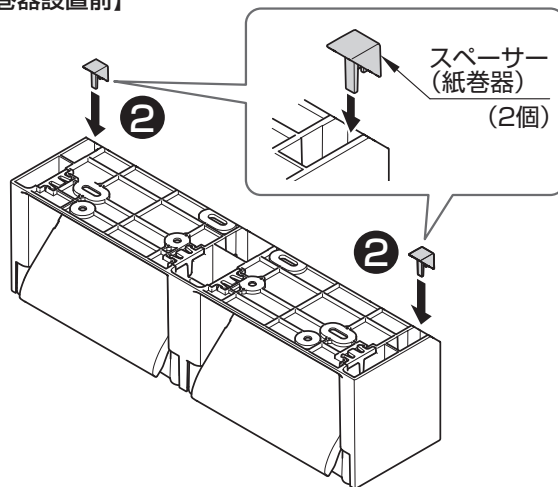
マープライトカウンター
クリスタルカウンター

裏張材の前端と樹脂製紙巻器の
前端をあわせる

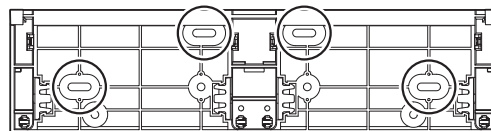


※図はマープライトカウンター

【紙巻器設置前】



長穴4カ所を使って固定する

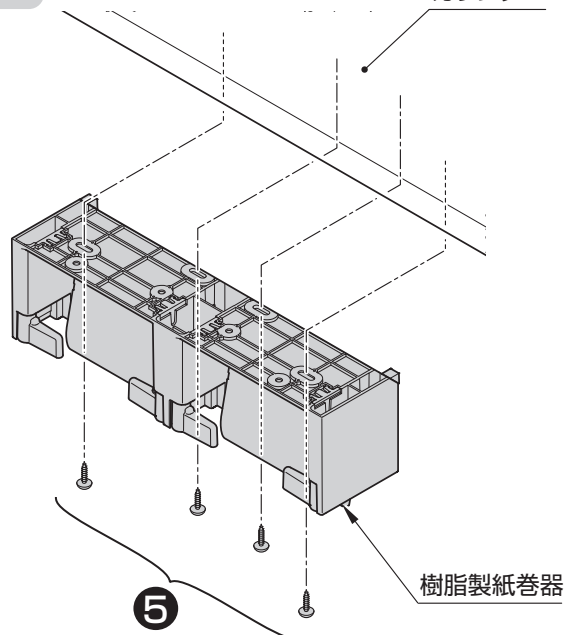


手締めで



十字穴付トラスタッピンねじ
4×14(4本)

カウンター



樹脂製紙巻器

5

ビルトインリモコンありの場合

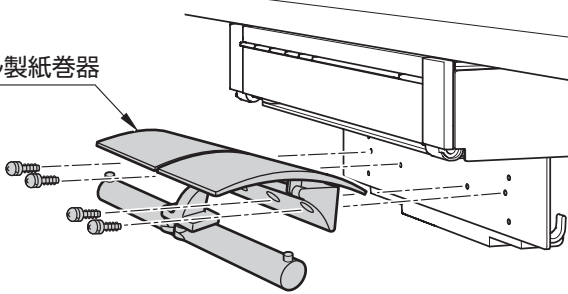
メタル製紙巻器の場合



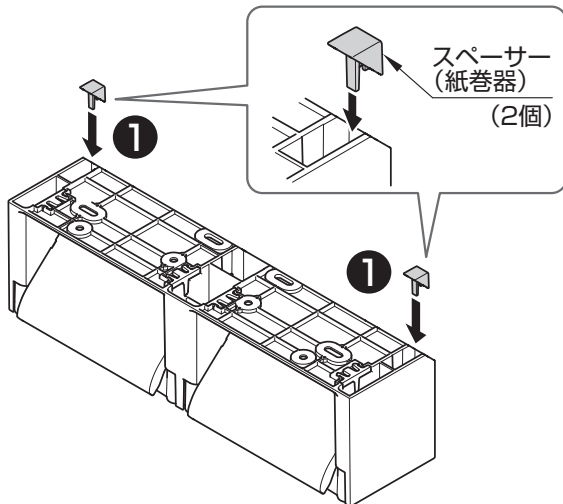
同梱の十字穴付なベタッピンねじ
4×40(4本)は使わない
ビルトインリモコンを破損するおそれがあります。

十字穴付座金組込なべ小ねじ
M4×8(4本)

メタル製紙巻器



樹脂製紙巻器の場合



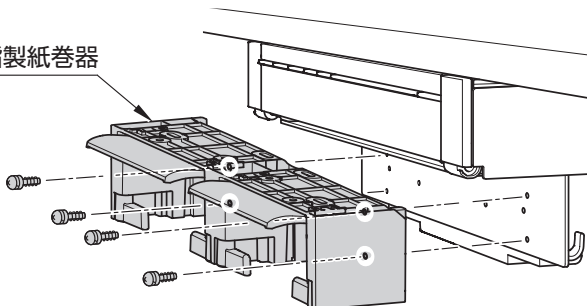
2



同梱の十字穴付トラスッピンねじ
4×14(4本)は使わない
ビルトインリモコンを破損するおそれがあります。

十字穴付座金組込なべ小ねじ
M4×12(4本)

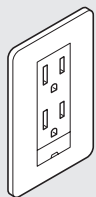
樹脂製紙巻器



MEMO

9. 試運転・確認

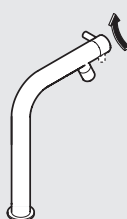
1 電気コンセントの確認



▶P.58

手洗器ありの場合

2 吐水の確認



▶P.59

手洗器ありの場合

3 水漏れの確認



▶P.60

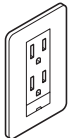
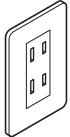
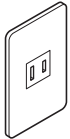
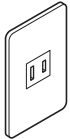
4 フィルターの掃除



▶P.61

1 電気コンセントの確認

コンセントに電源プラグを下図を参考に根元まで確実に差し込む。

設置位置	設置機器				コンセント	プラグの差し込み位置		
	自動水栓・ タッチレス ウォール水栓	電気 温水器	ビルトイン リモコン	照明付 化粧鏡		下側	上側	
カウンター下	○	○	○	—	 ・接地用端子の付いた 接地極付きの壁埋込 式2口コンセント	 電気 温水器	 ビルトイン リモコン	自動水栓・ タッチレスウォール水栓 
	○	○	—	—		  電気 温水器		自動水栓・ タッチレスウォール水栓 
	○	—	○	—	 ・壁埋込式2口コンセント	  ビルトイン リモコン		
	○	—	—	—				
	—	—	—	—	 ・壁埋込式1口コンセント			
	—	—	○	—				
化粧鏡裏	—	—	—	○	 ・壁埋込式1口コンセント		 ビルトイン リモコン	

手洗器ありの場合

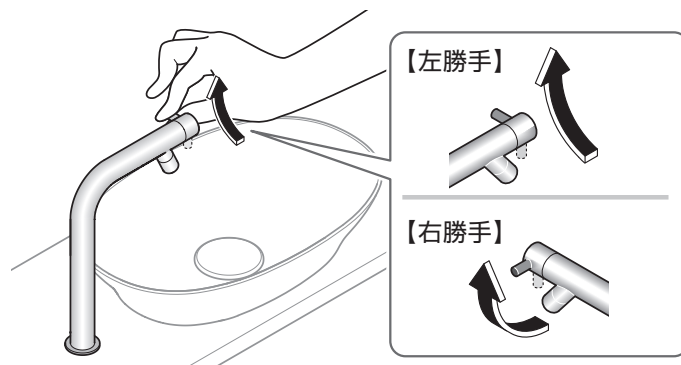
2 吐水の確認

参照 自動水栓・電気温水器の吐水確認: それぞれに同梱の施工説明書

ハンドル式水栓の場合

① 止水栓が閉まっていることを確認する

② ハンドルを全開にする



※図はベッセルタイプ(丸形)の場合

⚠ 注意



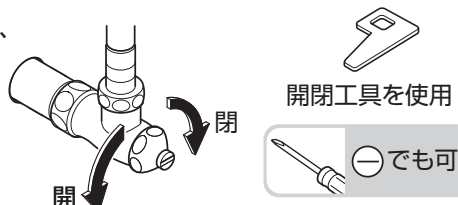
必ず守る

流量は必ず調整する

- ・流量が多いと使用時に水はねして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。
- ・流量が少ないと複数箇所の同時吐水時に流量不足となる場合があります。

③ 適切な流量になるまで、少しずつ止水栓を開ける

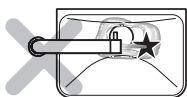
水の勢いが強すぎて衣服などをぬらすおそれがある場合は、止水栓を回して、流量を調整してください。



★ 水があたる位置

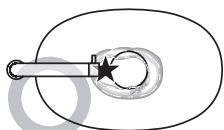
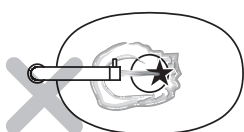
【Mサイズ】

・ベッセルタイプ(角形)の場合

流量が
多い流量が
少ない

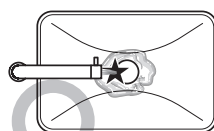
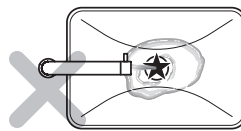
【Lサイズ】

・ベッセルタイプ(丸形)の場合

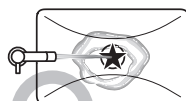
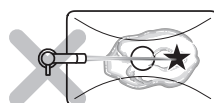
流量が
多い流量が
少ない

【Lサイズ】

・ベッセルタイプ(角形)の場合

流量が
多い流量が
少ない

・ボウル一体タイプの場合

流量が
多い流量が
少ない

タッチレスウォール水栓の場合

① 水を出す・止める

吐水口に手を近づけると水が出ます。



※図はベッセルタイプ(角形)の場合

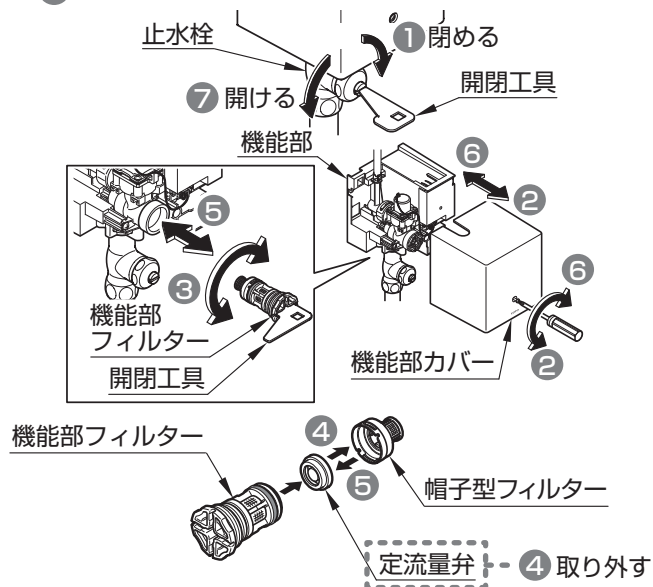
- ・手を離すと約1~2秒後に水が止まります。
 - ・設置後すぐは、エアーがみにより流れが乱れることがあります。その場合は、数回水を出し止めてください。
 - ・手を約1分間連続して感知すると自動的に止まります。(センサー感知は学習方式のため、手を動かさないでいると約15秒で水が止まります)
 - ・センサー前面から約2cmの位置に白い紙など反射しやすい物を感知させると、最大1分間水を出すことができます。
- ※洗面器内に水をためると、水の影響により感知する場合があります。
- ※正常に動作しない場合は、**各コネクターが確実に接続されている**か確認してください。

② 流量の調節

機能部内部に、定流量弁を内蔵していますので、基本的には流量の調節は不要です。**止水栓は全開**でご利用ください。ただし、水の勢が強すぎて衣服などをぬらすおそれがある場合は、開閉工具で止水栓を回して、流量を調節してください。また、圧力が低い場合や電気温水器とのセットにより、流量が不足する場合がありますので、下記要領にて定流量弁を取り外し流量を調節してください。

※図はMサイズ(床給水)の場合です。

- ① 開閉工具で止水栓または元栓を確実に閉める
- ② ねじを外し、機能部カバーを外す
- ③ 機能部に組み込まれている機能部フィルターを開閉工具で外す
- ④ 帽子型フィルターを外し、定流量弁を取り外す
- ⑤ 機能部フィルターに帽子型フィルターを取り付け、機能部フィルターを奥まで確実に取り付ける
- ⑥ 機能部カバーを取り付ける
- ⑦ 止水栓および元栓を開け、止水栓で流量調節をする



手洗器ありの場合

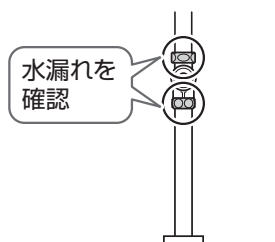
3 水漏れの確認

参照 自動水栓・電気温水器の確認：
それぞれに同梱の施工説明書

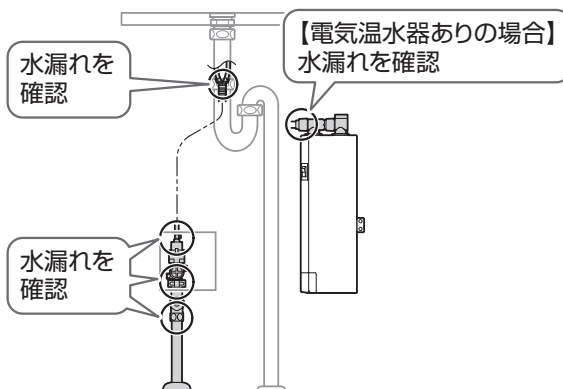
※図は床給水、床排水の場合

給水管の水漏れ確認

【ハンドル式水栓の場合】

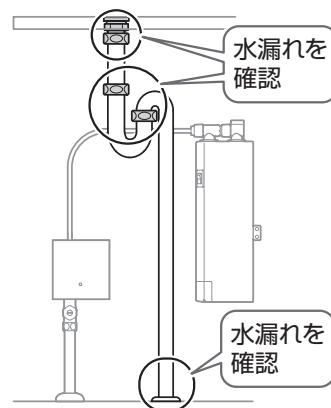


【タッチレスウォール水栓の場合】



排水管の水漏れ確認

※図は電気温水器ありの場合



4 フィルターの掃除

自動水栓の場合

参照 フィルター清掃：自動水栓の施工説明書

タッチレスウォール水栓の場合

取付後は必ずフィルターを掃除してください。

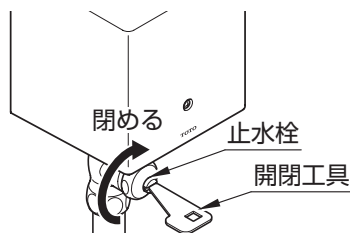
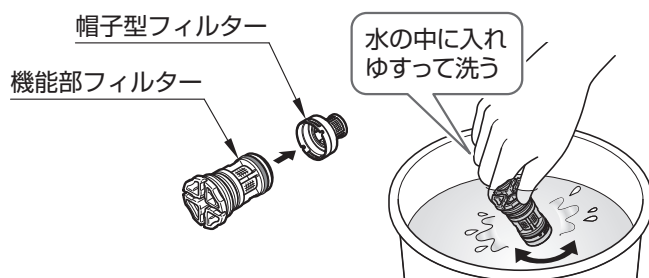
機能部フィルターの外しかたは **② 流量の調節** (P.60) を確認してください。フィルターが詰まると流量が少なくなったり、十分な機能が発揮されなくなります。

また、お客様にも時々掃除していただくように説明してください。

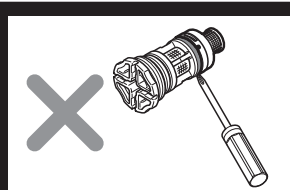
※フィルターを掃除する際は、付属の開閉工具で

止水栓を閉めたあと、機能部フィルターを外してください。

※ゴミがフィルターの内側にたまります。
のぞきこんで確認してください。



機能部フィルターの分解時に
工具は使用しない



MEMO

MEMO

10.シリコン系シール材

1 シリコン系シール材の塗布

- ※ジョイントコークなどの水溶性のコーキングは使用しないでください。
- ※防カビ性の透明シリコン系シール材(別途手配)
- ※下記箇所以外にすき間が気になる場合はシリコン系シール材を塗布してください。

Mサイズ

【アクセントパネルなしの場合】

カウンターと
壁とのすき間

【バックパネルありの場合】

カウンターと
壁とのすき間

カウンターの厚みまで

【アクセントパネルありの場合】

カウンターと
壁とのすき間

アクセントパネルと
壁とのすき間

カウンターの厚みまで

Lサイズ ※図はベッセルタイプ(角形)

【アクセントパネルなしの場合】

カウンターと
壁とのすき間

カウンターと
壁とのすき間

カウンターの厚みまで

【アクセントパネルありの場合】

カウンターと
壁とのすき間

アクセントパネルと
壁とのすき間

カウンターの厚みまで

手洗器がない場合 ※図はMサイズの場合

【手洗器なし(アクセントパネルなし)の場合】

カウンターと
壁とのすき間

カウンターと
壁とのすき間

カウンターの厚みまで

【手洗器なし(アクセントパネルあり)の場合】

カウンターと
壁とのすき間

アクセントパネルと
壁とのすき間

カウンターの厚みまで

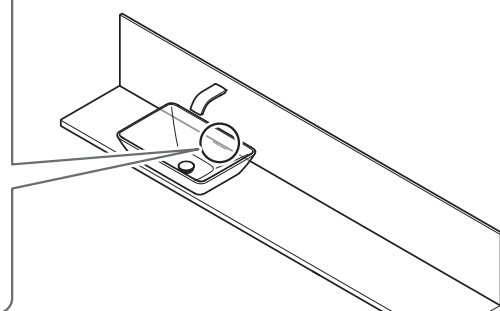
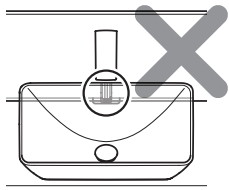
Lサイズ(タッチレスウォール水栓の場合)

注意



必ず守る

カウンター切り欠き部(タッチレスウォール水栓のホースとコードの箇所)にはシリコン系シール材を塗布しない
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。



11. ビルトインリモコンの設定

必ず実施

組み合わせ設定

●下記の「組み合わせ設定」をしないと各機器が作動しません。

- 照明付化粧鏡の取り付け有無によって、
組み合わせ設定 **A** または **B** を選択してください。

キャビネット施工時に
照明付化粧鏡を取り付けていない

キャビネット施工時に
照明付化粧鏡を取り付けた

B 次ページ参照

A

●本書の「ビルトインリモコン」の施工を完了してから行ってください。

必ず以下の施工手順に従って作業してください。
(施工手順を変えると、正しく設定できない場合があります。)

- ① ウォシュレット本体とビルトインリモコンの電源プラグを差し込む

ネオレストNXの場合

- ② 便座右上の流すボタン
を押し続ける (10秒以上)

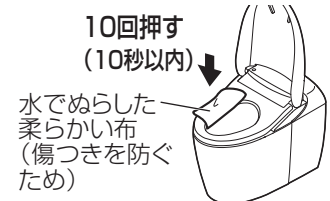
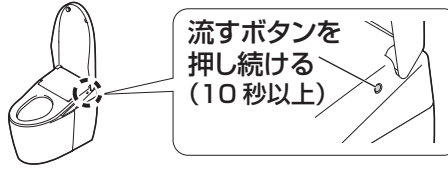
ネオレストLS・ASの場合

- ② 流すボタンを押し続ける
(10秒以上)

ネオレストRSの場合

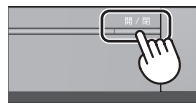
- ② 便座の左側を手で
10秒以内に10回押す
・「ピッ」という電子音が鳴ります。

・ボタンを押すとすぐに「ピッ」という電子音が鳴りますが、約 10 秒後に「ピッ」という電子音がもう一度鳴るまで押し続けてください。(1 回目の電子音は、便器洗浄の受付音です。)



ウォシュレット本体が設定状態に入ります。
※設定状態は約2分です。時間内にすべての設定を完了させてください。

- ③ ビルトインリモコンの  を押す

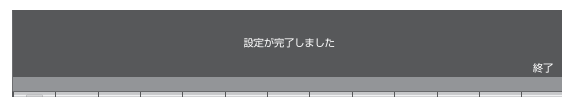


- ④  を5回押す



5回押す

設定完了



「設定が完了しました」と表示されない場合は、組み合わせ設定が完了していません。
手順②からやり直してください。

- ⑤  を押す

画面にボタンが表示されます



(図はネオレストNX)

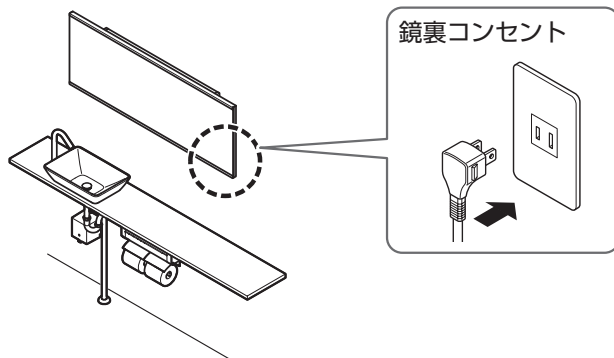
B

●本書の「ビルトインリモコン」の施工および「照明付化粧鏡(オプション)」の施工までを完了してから行ってください。

参照 照明付化粧鏡の取り付け: 照明付化粧鏡に同梱の施工説明書

必ず以下の施工手順に従って作業してください。
(施工手順を変えると、正しく設定できない場合があります。)

1 下図の電源プラグを差し込む

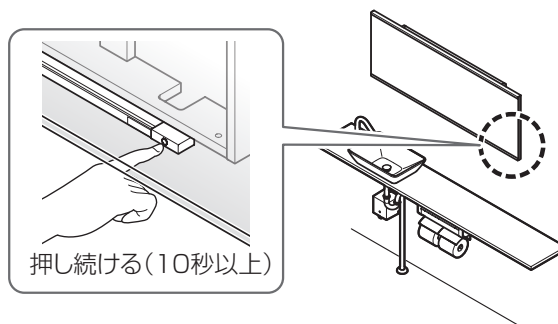


作業後に組み合わせ設定をやり直したい場合は、
次ページの **組み合わせ設定の初期化** を行い、
もう一度設定してください。

2 照明付化粧鏡の内側にあるペアリングスイッチを10秒以上押す

●設定状態に入り、照明付化粧鏡が1秒おきに点滅します。

※設定状態は約5分です。
時間内に、すべての設定を完了させてください。



3 ウォシュレット本体とビルトインリモコンの電源プラグを差し込む

ネオレストNXの場合

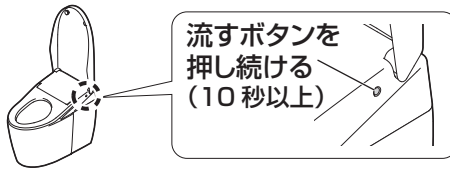
4 便座右上の流すボタン^④を押し続ける(10秒以上)

・ボタンを押すとすぐに「ピッ」という電子音が鳴りますが、約10秒後に「ピッ」という電子音がもう一度鳴るまで押し続けてください。(1回目の電子音は、便器洗浄の受付音です。)



ネオレストLS・ASの場合

4 流すボタンを押し続ける(10秒以上)



ネオレストRSの場合

4 便座の左側を手で10秒以内に10回押す

・「ピッ」という電子音が鳴ります。

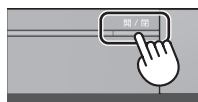
10回押す
(10秒以内)

水でぬらした
柔らかい布
(傷つきを防ぐ
ため)



※ウォシュレットの設定状態は約2分です。

5 ビルトインリモコンの **開/閉** を押す



⑥ 止 を5回押す



5回押す

確認（各項目を確認後、□に✓してください）

- リモコン画面に「設定が完了しました」と表示されましたか



「はい」

「いいえ」

手順②から
やり直してください。

- 照明付化粧鏡が0.5秒おきに点滅し、約10秒後に点滅が終わりましたか

- 終了 → 設定 → 次ページへ を押す

→リモコン画面に「照明」が表示されましたか



すべて「はい」

手順⑦へ

1つでも「いいえ」

下記の **組み合わせ設定の初期化** を行い、
手順②からやり直してください。

⑦ 終了 を押す



（図はネオレストNX）

⑧ 「12.照明付化粧鏡」の動作確認を行う

組み合わせ設定の初期化

止 と パワー脱臭
同時に10秒以上押す



初期画面に
戻ります

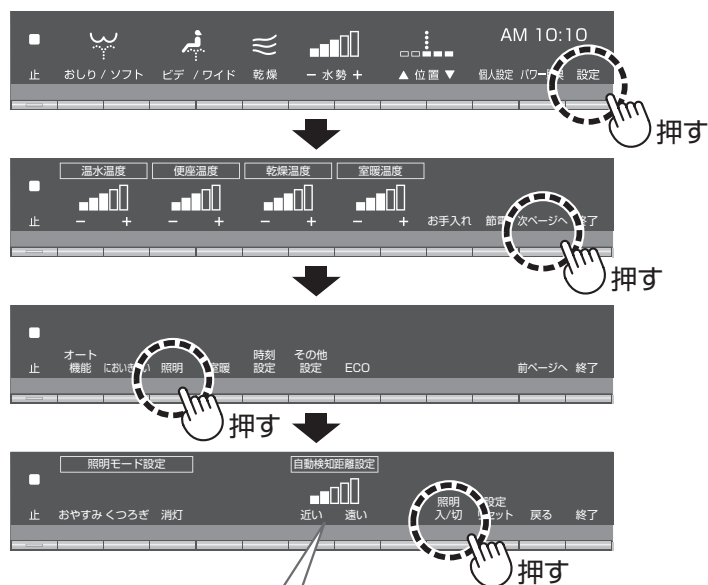
- 「組み合わせ設定」と「12.照明付化粧鏡」の動作確認が終わりましたら、
ウォシュレット・ネオレスト施工説明書の「洗浄水量の切り替え」より、引き続き作業を行ってください。

12. 照明付化粧鏡

1 照明の動作確認

ビルトインリモコンと組み合わせ時はウォシュレットのやわらかライトは点灯しません

- ・ビルトインリモコンより「設定」→「次ページへ」→「照明」のメニューに入る
- ・「照明入/切」により照明付化粧鏡が動作（点灯/消灯）することを確認する
※最後は必ず「照明点灯」の状態にすること



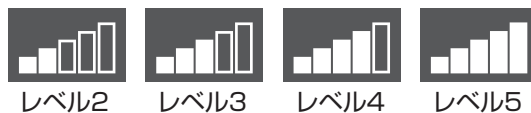
2 自動検知距離設定

- ・ビルトインリモコンより「設定」→「次ページへ」→「照明」のメニューに入り、「自動検知距離設定」によりトイレブースの奥行寸法にあわせて設定する
- ・右表のように、設置するネオレストの種類と奥行寸法からなる設定レベル（目安）を設定する
- ・設定後、トイレドアを開けて入室して一歩以内で照明付化粧鏡が点灯することを確認する（確認は、トイレ外に出てトイレドアを閉め、180秒以上経過したのちの入室で実施）
- ・入室して一歩以上進まないで照明付化粧鏡が点灯しない場合は、設定レベルを上げる（例えば、レベル3をレベル4にする。最大はレベル5）

設置するネオレストの機種によりレベル設定値が異なる

奥行寸法	ネオレスト	
	NX	LS・AS
1600mm以上1700mm未満	2	3
1700mm以上1900mm未満	3	4
1900mm以上	4または5	5

レベル設定値の画面表示



レベル2

レベル3

レベル4

レベル5

MEMO

